

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	空港周辺地域整備事業		決算書頁	280
視点・政策	01 暮らし・01 住む			
施策	6 市街地の整備を進めます			
所管部・課	都市政策部 都市政策課	作成者	課長 田中 英之	

2. 事業の目的

川西市南部地域における移転補償跡地の有効活用を図り、生活環境の改善を推進する

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	R3年度	R2年度	比較	財源	R3年度	R2年度	比較	
総事業費	73,416	90,638	△ 17,222	一般財源	31,871	41,231	△ 9,360	
事業費	48,975	69,467	△ 20,492	国県支出金	3,910		3,910	
内 人 件 費 減価償却費	正・再任用職員	24,441	21,171	3,270	地方債	8,500	49,056	△ 40,556
	在職付・会計年度任用職員				特定財源(その他)	29,135	351	28,784
(参考) 正・再任用職員数(人)	3	2	1					
		1	△ 1					

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	空港周辺地域整備事業	細事業事業費(千円)	48,975
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	審議会・検討会	住民説明・情報発信	
(2) R3年度の取組と成果	① 隅切り整備、雨水施設整備及び暫定緑地整備にかかる設計(詳細設計委託料) ...17,334千円 ② 市道81号外道路改良工事(工作物工事費) ...18,942千円 ③ JR北伊丹駅乗降客数調査(調査委託料) ...402千円		
川西市南部地域整備実施計画(主なもの抜粋)			
1	市道22号沿道(高芝付近)の移転補償跡地等にスーパーマーケット、コンビニエンスストア、時間貸し駐車場、医療施設等、農産物直売所を誘致できる可能性を把握するため、新開空会社と協議・調整の上、サウンディング型調査を実施する。		
2	JR北伊丹駅北側出入口へのエレベーター設置を調整する。(JR西日本調整及び国土交通省、兵庫県に要望)		
3	市道22号の隅切りを5箇所整備する。(高芝地区南側)		
4	市道22号の隅切りを2箇所整備する。(高芝地区東側)		
5	市道18号・20号の隅切りを3箇所整備する。(むつみ・高芝・西町地区)		
6	私道を公道化するとともに、隅切りを2箇所整備する。(むつみ地区)		
7	市道22号の隅切りを2箇所整備する。(摂代地区)		
8	市道81号・829号を拡幅整備する。(摂代地区)		
9	雨水施設を整備する。(主に高芝・むつみ・摂代地区)		
10	下池の活用方法について、地域代表者等と協議・調整の上、サウンディング型調査の実施について検討する。		
11	むつみゲートボール場の利用者数およびニーズ調査を実施し、検討する。		
12	新生会ゲートボール場の利用者数およびニーズ調査を実施し、検討する。		
13	暫定緑地の樹木を伐採抜根、地域の憩いの場や災害時の拠点場所として整備(1箇所)する。		
14	三葉公園西側の土地を多目的広場から消防施設として用途変更し、取得(土地交換)する。		

完了率

	令和2年	令和3年
計画数	36	36
完了数	12	19
完了率	33%	53%

JR北伊丹駅乗降客数調査

JR北伊丹駅北側出入口へのエレベーター設置に向け、JR西日本への要望活動にあたっての根拠資料とするため、当該駅の乗降客数について調査を行った。



調査地点位置図

乗降客数

北口・南口 計		(人)	
	入場者数	出場者数	計
平日	4,363	4,113	8,476
休日	2,763	2,638	5,401

北口		(人)	
	入場者数	出場者数	計
平日	1,694	1,606	3,300
休日	1,194	1,119	2,313

南口		(人)	
	入場者数	出場者数	計
平日	2,669	2,507	5,176
休日	1,569	1,519	3,088



調査の様子

5. 担当部長によるR3年度事業成果の自己評価及び後期基本計画の総括を含めた今後の方向性

R3年度事業成果の自己評価			左記（自己評価）の具体的説明
	有効性	効率性	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度に市道57号の改良工事を実施するため、詳細設計を行ったことにより、計画の行程どおり生活環境の向上に向けた工事実施資料が整った。 サウンディング型市場調査の実施により、市道22号沿道へのスーパーマーケット等の生活利便施設誘致の可能性や、当該道路に隣接する市有地等の市場性について把握できた。 事業実施にあたり新関西国際空港株式会社の助成金だけでなく、測量業務の一部に国の地籍整備推進調査費補助金を活用することで1,958千円が補助された。
大きく向上した。			
向上した。		○	
前年度の水準に留まった。	○		
前年度の水準を下回った。			
事業の課題			後期基本計画期間を振り返った上での令和4年度以降の方向性
<ul style="list-style-type: none"> 南部地域整備実施計画を令和6年度中に完遂できるよう取り組む必要がある。 新関西国際空港株式会社及び関西エアポート株式会社に対し、助成金や土地（移転補償跡地）の供与等によるスムーズな事業協力が得られるよう、協議・調整を続ける必要がある。 設計や測量等、事業進捗の見えづらい業務に取り組む時期もあり、住民への南部地域整備実施計画の進捗状況について情報発信を図る必要がある。 			<p>【後期基本計画を振り返っての総括】</p> <p>南部地域整備実施計画に基づき、庁内及び庁外関係機関と協議・調整しながら事業に取り組み、南部地域の生活環境向上に寄与するよう計画を進めることができた。</p> <p>【令和4年度以降の方向性】</p> <p>令和3～4年度に実施する測量及び設計を基に、雨水施設整備や道路隅切り整備、憩いの広場整備工事を進める。</p> <p>また、ニュースレター（計画の進捗状況等）の作成や看板（事業説明等）を設置することで、地域への情報を発信する。</p>

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	公共交通支援事業		決算書頁	256
視点・政策	01 暮らし・01 住む			
施策	8 総合的な交通環境の向上を図ります			
所管部・課	土木部 交通政策課	作成者	課長 大村 匡	

2. 事業の目的

公共交通の維持保全・利用促進・利便性向上を図る

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	R3年度	R2年度	比較	財源	R3年度	R2年度	比較
総事業費	56,507	69,878	△ 13,371	一般財源	50,274	48,031	2,243
事業費	23,919	37,018	△ 13,099	国県支出金	6,233	21,847	△ 15,614
内 人 件 費	32,588	32,860	△ 272	地方債			
正・再任用職員				特定財源(その他)			
在職付職員・会計年度任用職員							
減価償却費							
(参考) 正・再任用職員数(人)	4	4					

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	公共交通計画推進事業	細事業事業費(千円)	9,146												
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	審議会・検討会	講座・フォーラム													
(2) R3年度の取組と成果	<p>主 取 組</p> <p>【戦略3】①地域公共交通体系を支える新しい仕組みの検討業務(委託料)…3,993千円 ②市立川西病院・大和団地線(バス支援事業補助路線)の再編に係る業務…2,640千円</p> <p>川西市公共交通基本計画(H27年3月策定)に基づき、以下の取組を実施した。</p> <p>【戦略3】①地域公共交通体系を支える新しい仕組みの検討業務…3,993千円 人口減少、高齢化が顕著なニュータウンを中心にオンデマンドモビリティサービス(利用者の予約に応じて運行する区内移動に限定した小型乗合公共交通)実証実験に係る調査を行った。</p> <p>②市立川西病院・大和団地線(バス支援事業補助路線)の再編検討業務…2,640千円 収支差が増大する当該補助路線について、地域と交通事業者と協議のうえ、一部区間を令和3年10月より減便及びルートの変更を行った。また、10月以降の運行状況確認のため、乗降調査を実施した。</p> <p>③川西市地域公共交通会議の開催…280千円 持続可能な公共交通の確保を図ることを目的とした計画の策定や②について、関係者(有識者、交通事業者等)と検討するため同会議を計3回開催した。</p> <p>④出前授業等の実施(対象者:小学生等及び地域住民)…47千円 小学校へ出前授業を実施するとともにバス車内に児童が描いたバスの絵を掲示するなど、公共交通の利用促進を図った。</p>														
小学生等への実施回数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>21</td> <td>17</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>			年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	回数	21	17	11	0	1
年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度										
回数	21	17	11	0	1										
地域への実施回数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>			年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	回数	1	1	1	0	3
年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度										
回数	1	1	1	0	3										

<細事業2>	バス支援事業	細事業事業費（千円）	14,773																														
(1) 参画と協働の主な手法（実績）	団体等への補助																																
(2) R3年度 of 取組と成果																																	
主 な 取 組	<ul style="list-style-type: none"> ・バス路線維持による沿線住民に対する利便性の確保（バス事業者への補助金）…14,773千円 ・バス路線維持による沿線住民に対する利便性の確保 阪急バス株式会社へ運行を依頼している市立川西病院・大和団地線について、運行経費を補助した。 																																
	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	※各年度（前年度10月1日～当該年度9月30日）																											
利用者数（人）	314,734	317,801	320,732	264,840	234,245																												
<細事業3>	ノンステップバス導入支援事業	細事業事業費（千円）	0																														
(1) 参画と協働の主な手法（実績）																																	
(2) R3年度 of 取組と成果																																	
主 な 取 組	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、障がい者等の利用に配慮したノンステップバス車両の導入促進（バス事業者への補助金）…0千円 ※事業者が車両入れ替えをリース対応としたため補助を実施せず。 																																
<p><事業内容> 川西市超低床ノンステップバス購入補助金交付要綱に基づき、事業者(阪急バス株式会社)に ノンステップバス車両購入費を補助(猪名川町とは距離按分の負担協定を締結)</p> <p>ノンステップバス導入状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バス総台数（台）</td> <td>132</td> <td>129</td> <td>134</td> <td>132</td> <td>129</td> </tr> <tr> <td>内ノンステップバス（台）</td> <td>95</td> <td>97</td> <td>102</td> <td>110</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>補助台数（台）</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>導入率（%）</td> <td>72</td> <td>75.2</td> <td>76.1</td> <td>83.3</td> <td>81.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>R3年度は他エリアからワンステップバスを受け入れたことや、ノンステップバスの経年廃車が増加したことにより、導入率が低下した。</p>				年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	バス総台数（台）	132	129	134	132	129	内ノンステップバス（台）	95	97	102	110	105	補助台数（台）	0	0	1	0	0	導入率（%）	72	75.2	76.1	83.3	81.4
年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度																												
バス総台数（台）	132	129	134	132	129																												
内ノンステップバス（台）	95	97	102	110	105																												
補助台数（台）	0	0	1	0	0																												
導入率（%）	72	75.2	76.1	83.3	81.4																												

5. 担当部長によるR3年度事業成果の自己評価及び後期基本計画の総括を含めた今後の方向性

R3年度事業成果の自己評価		左記（自己評価）の具体的説明
	有効性	効率性
大きく向上した。		
向上した。		
前年度の水準に留まった。	○	○
前年度の水準を下回った。		
事業の課題		後期基本計画期間を振り返った上での令和4年度以降の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）川西市公共交通計画の策定にあたっては地域別の課題を把握し、それぞれの地域に適した公共交通のあり方を検討する必要がある。 ・人口減少に加え、新たな生活様式の定着などにより利用者が減少し続けており、公共交通をどのように維持していくかが課題である。 ・補助路線を持続可能な運行とし続けるためには、利用促進を図るとともに定期的に運行体系を見直す必要がある。 		<p>【後期基本計画を振り返っての総括】</p> <p>川西市公共交通基本計画に基づき、課題解決に向けた取組や新たな公共交通の仕組みの検討を行った。</p> <p>補助路線の持続可能な運行について、地域や交通事業者等と検討を行うための川西市地域公共交通会議を立ち上げた。</p> <p>【令和4年度以降の方向性】</p> <p>新たな計画の策定では、各地域の課題を整理し具体的な取組を示す。交通事業者に対し短期的にはコロナ禍における支援、中長期的にはノンステップバス購入補助などの既存事業の見直しも含め、持続可能な対策を模索する。補助路線の今後の運行について地域公共交通会議の場で定期的に検討を行う。</p>

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	住宅供給促進事業		決算書頁	284
視点・政策	01 暮らし・01 住む			
施策	9 公営住宅を適正・効率的に管理します			
所管部・課	都市政策部	住宅政策課	作成者	課長 萩倉 直

2. 事業の目的

特定優良賃貸住宅等の供給と適正な維持管理を行う

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	R3年度	R2年度	比較	財源	R3年度	R2年度	比較
総事業費	54,322	39,855	14,467	一般財源	13,485	17,188	3,703
事業費	46,175	31,640	14,535	国県支出金			
内訳				地方債			
人件費	8,147	8,215	68	特定財源(その他)	40,837	22,667	18,170
減価償却費							
(参考)正・再任用職員	1	1					
用職員数(人)							

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	特定優良賃貸住宅供給事業	細事業事業費(千円)	13,485
(1) 参画と協働の主な手法(実績)			
(2) R3年度の取組と成果			
主な取組	特定優良賃貸住宅の供給(補助金)...13,485千円		
<p>・一般財団法人川西市都市整備公社が借り上げた特定優良賃貸住宅において、空き室を原因とする家賃収入と受託管理収入等の差額分に対して補助金を交付した。</p> <p>特定優良賃貸住宅...主に中堅所得者層向けに供給される賃貸住宅のこと。</p>			
○特定優良賃貸住宅管理状況			
	2年度	3年度	
管理棟数	1棟	1棟	
管理戸数	30戸	30戸	
特定優良賃貸住宅供給促進事業家賃補助金	8,973千円	13,485千円	
			
River West 花屋敷			
○特定優良賃貸住宅の個別管理状況			
	契約期間	管理戸数	入居戸数
River West 花屋敷	H14.3.1~R4.2.28	30戸	23戸
R4.2末入居戸数			

<細事業2>	市営住宅出在家団地譲受事業	細事業事業費(千円)	22,689		
(1) 参画と協働の主な手法(実績)					
(2) R3年度の取組と成果					
主 な 取 組	市営住宅出在家団地建設費用の償還(建物購入費)...22,689千円				
<ul style="list-style-type: none"> 阪神高速道路及び猪名川改修事業に伴い、都市再生機構の公営賃貸用特定分譲制度を活用して建設した出在家団地の費用の償還を行った。 					
○割賦金年度別支払状況 (単位:千円)					
	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
支払額	22,610	22,628	22,647	22,667	22,689
支払完了予定年度 令和10年度					
<細事業3>	市営住宅供給事業	細事業事業費(千円)	10,001		
(1) 参画と協働の主な手法(実績)					
(2) R3年度の取組と成果					
主 な 取 組	栄北団地、栄南団地7号棟、栄町団地G棟の管理費等支払い(その他負担金)...9,737千円				
<ul style="list-style-type: none"> 栄北団地、栄南団地7号棟、栄町団地G棟の一部が公営住宅となっているため、管理戸数分の管理費を支払った。 					
管理戸数及び管理費 (単位:戸、円)					
	戸数	管理費			
栄北団地	23	5,437,200			
栄南団地7号棟	16	4,075,003			
栄町団地G棟	4	224,400			
計	43	9,736,603			

5. 担当部長によるR3年度事業成果の自己評価及び後期基本計画の総括を含めた今後の方向性

R3年度事業成果の自己評価	有効性	効率性	左記(自己評価)の具体的説明 <ul style="list-style-type: none"> 特定優良賃貸住宅によって、中堅所得者層に対して良質な賃貸住宅を供給することができた。 市営住宅出在家団地の建設費用償還と管理費の支払いをすることで、公営住宅を供給することができた。
	大きく向上した。		
	向上した。		
	前年度の水準に留まった。		
	前年度の水準を下回った。		
事業の課題	後期基本計画期間を振り返った上での令和4年度以降の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> 出在家団地割賦金及び栄北団地等の管理費の支払いを遅滞なく、適切に処理する必要がある。 	【後期基本計画を振り返っての総括】 出在家団地割賦金及び栄北団地等の管理費を適切に会計処理をすることができた。		
	【令和4年度以降の方向性】 出在家団地割賦金については、支払いが完了する令和10年度まで遅滞することなく、適切に処理する。また、栄北団地等の管理費についても、遅滞なく処理する。		

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	市営住宅維持管理事業		決算書頁	286
視点・政策	01 暮らし・01 住む			
施策	9 公営住宅を適正・効率的に管理します			
所管部・課	都市政策部 住宅政策課	作成者	課長 萩倉 直	

2. 事業の目的

公営住宅等の適正な供給と効率的な管理を行う

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	R3年度	R2年度	比較	財源	R3年度	R2年度	比較
総事業費	394,731	386,647	8,084	一般財源	253,705	241,325	12,380
事業費	168,949	110,243	58,706	国県支出金	13,054	15,203	△ 2,149
内訳	正・再任用職員	49,290	△ 49,290	地方債		8,600	△ 8,600
	在期待職員・会計年度任用職員			特定財源(その他)	127,972	121,519	6,453
減価償却費	225,782	227,114	△ 1,332				
(参考) 正・再任用職員数(人)	正職員	6	△ 6				
	再任用職員						

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	市営住宅維持管理事業	細事業事業費(千円)	164,901																																				
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等への委託																																						
(2) R3年度の取組と成果																																							
主な取組	<p>①耐用年限を超過した平屋団地の解体(解体工事費)…40,977千円</p> <p>②市営住宅維持管理の指定管理(指定管理料)…106,068千円</p>																																						
①市営住宅の管理戸数・用途廃止の状況	<p>川西市公営住宅基本計画に掲げる目標管理戸数に向けて、空き家となった川西第2団地(22戸)を解体し、旧花屋敷団地A棟(50戸)、C棟(45戸)を解体及びB棟(10戸)とともに用途廃止した。新花屋敷団地A棟の住宅部分(166戸)が完成した。</p> <p>管理戸数及び入居戸数 3/31時点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>管理戸数</td> <td>1,041</td> <td>1,012</td> <td>1,007</td> <td>991</td> <td>1,030</td> </tr> <tr> <td>入居戸数</td> <td>869</td> <td>827</td> <td>791</td> <td>765</td> <td>761</td> </tr> <tr> <td>空家戸数</td> <td>172</td> <td>185</td> <td>216</td> <td>226</td> <td>269</td> </tr> <tr> <td>うち政策空き家戸数</td> <td>110</td> <td>100</td> <td>147</td> <td>152</td> <td>197</td> </tr> <tr> <td>入居率(%)</td> <td>93.34</td> <td>90.68</td> <td>91.98</td> <td>91.18</td> <td>91.36</td> </tr> </tbody> </table> <p>入居率=(入居戸数÷(管理戸数-政策空き家戸数))×100</p>				29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	管理戸数	1,041	1,012	1,007	991	1,030	入居戸数	869	827	791	765	761	空家戸数	172	185	216	226	269	うち政策空き家戸数	110	100	147	152	197	入居率(%)	93.34	90.68	91.98	91.18	91.36
	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度																																		
管理戸数	1,041	1,012	1,007	991	1,030																																		
入居戸数	869	827	791	765	761																																		
空家戸数	172	185	216	226	269																																		
うち政策空き家戸数	110	100	147	152	197																																		
入居率(%)	93.34	90.68	91.98	91.18	91.36																																		
②市営住宅の指定管理者制度による維持管理	<p>令和3年4月から令和6年3月まで株式会社東急コミュニティーが市営住宅等の入居者募集、入退去手続、修繕などの業務を管理している。</p> <p>指定管理事業者からの提案事業「高齢者ふれあいサポート」を実施</p> <p>徐々に登録者数が増え、入居者からは「気軽に相談しやすい」と好評を得ている。(単身の高齢者が対象)</p> <p>入居者に対する満足度(抽出)アンケートを実施</p> <p>入居者満足度は、3.4点であった。(5点満点)</p> <p>送付件数 500件、回答件数 225件、回答率 45.0%</p>																																						
	<p>高齢者ふれあいサポート登録状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>3年4月末</th> <th>4年3月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者数</td> <td>234</td> <td>222</td> </tr> <tr> <td>登録者数</td> <td>46</td> <td>117</td> </tr> <tr> <td>登録率</td> <td>19.7%</td> <td>52.7%</td> </tr> </tbody> </table>				3年4月末	4年3月末	対象者数	234	222	登録者数	46	117	登録率	19.7%	52.7%																								
	3年4月末	4年3月末																																					
対象者数	234	222																																					
登録者数	46	117																																					
登録率	19.7%	52.7%																																					

<細事業2>	市営住宅使用料収納事業	細事業事業費（千円）	4,048						
(1) 参画と協働の主な手法（実績）									
(2) R3年度の取組と成果									
主 な 取 組	① 収納率の維持・向上に向けての臨戸訪問								
	② 未納月数の減少に向けて、入居者の生活状況を把握しながら、滞納初期段階での分納誓約								
③ 住宅使用料等の滞納が増加しないよう法的手続きの強化									
① 指定管理者による定期的な納付呼びかけや滞納者への臨戸訪問等の継続的な滞納対策をした結果、 現年度分の収納率は99.61%、滞納繰越分の収納率は5.57%となった。									
○ 収納率 (単位：%)		○ 収納状況 (R3年度) (単位：円)							
	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度		調定額	収入済額	収入未済額
現年度分	99.53	99.63	99.44	99.71	99.61	現年度分	253,705,484	252,717,684	987,800
滞納繰越分	8.16	7.98	6.09	7.15	5.57	滞納繰越分	114,855,101	6,391,900	99,561,581 ※
計	66.73	67.44	67.57	68.96	70.30	計	368,560,585	259,109,584	100,549,381
※滞納繰越分収入未済額は、不納欠損額 8,901,620円を差し引いたものである。									
② 滞納初期段階での分納誓約の徹底により現年度未納世帯数は、昨年度より減少した。									
○ 現年度未納世帯数及び未納月数									
	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度				
未納世帯	14	16	16	15	12				
未納月数	46	42	52	31	34				
③ 弁護士による家賃等回収状況を定期的にチェックし、返済が滞ってないか進捗を確認した。 建物等明渡訴訟に発展する入居者については、該当者がいなかった。									

5. 担当部長によるR3年度事業成果の自己評価及び後期基本計画の総括を含めた今後の方向性

R3年度事業成果の自己評価		左記（自己評価）の具体的説明	
	有効性	効率性	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度を導入することにより、高齢者対策など入居者サービスが向上した。 指定管理者の定期的な巡回により、施設の不具合箇所を早期に発見し、きめ細かに修繕の処置を進めることができた。 老朽化した木造平屋団地を解体した。 (川西第二団地 22戸)
大きく向上した。			
向上した。	○	○	
前年度の水準に留まった。			
前年度の水準を下回った。			
事業の課題		後期基本計画期間を振り返った上での令和4年度以降の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> 川西市公営住宅基本計画に基づき、老朽化した市営住宅の環境改善に、引き続き取り組む必要がある。 指定管理者が提案したコミュニティ交流の取り組みはコロナ禍の影響で実施できていないが、コミュニティの交流を促進させるため実施する必要がある。 市営住宅等の入居に関する問い合わせがあるため、適切に供給する必要がある。 		【後期基本計画を振り返ったの総括】 川西市公営住宅基本計画に基づいた取り組み（木造・簡易耐火造平屋住宅の用途廃止、指定管理者制度の導入）を着実に実施している。 【令和4年度以降の方向性】 <ul style="list-style-type: none"> 川西市公営住宅基本計画に基づき、市営住宅の環境改善などを適切に進める。 指定管理事業者の更新については、これまでの実績を踏まえ、仕様書などを検討していく。 	

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	花屋敷団地建替事業		決算書頁	288
視点・政策	01 暮らし・01 住む			
施策	9 公営住宅を適正・効率的に管理します			
所管部・課	都市政策部	住宅政策課	作成者	課長 萩倉 直

2. 事業の目的

花屋敷団地A・B・C棟の建替と絹延団地1・2号棟の集約を行う

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	R3年度	R2年度	比較	財源	R3年度	R2年度	比較
総事業費	711,850	1,625,449	913,599	一般財源	76,836	11,265	65,571
事業費	703,703	1,617,234	913,531	国県支出金	343,522	792,704	449,182
内訳				地方債	291,400	821,200	529,800
人件費	8,147	8,215	68	特定財源(その他)	92	280	188
減価償却費							
(参考)正・再任用職員	1	1					
用職員数(人)							

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	花屋敷団地建替事業	細事業事業費(千円)	703,703												
(1) 参画と協働の主な手法(実績)															
(2) R3年度の取組と成果															
主な取組	<p>花屋敷団地の建替(PFI委託料)...668,176千円</p> <p>花屋敷団地及び絹延団地入居者の本移転(補償金)...32,982千円</p>														
	<p>新花屋敷団地の住宅部分が完成</p> <p>川西市公営住宅基本計画に基づき、旧花屋敷団地A～C棟、絹延団地の集約、建替事業を進め、令和3年6月に新花屋敷団地A棟の住宅部分が完成した。</p>														
	<p>新花屋敷団地への移転(一次本移転)</p> <p>新花屋敷団地A棟の住宅部分の完成に伴って、旧花屋敷団地A・B・C棟の入居者と絹延団地1・2号棟の一部入居者が新花屋敷団地へ移転した。</p>														
	<p>移転期間 : 令和3年7月1日から8月3日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>団地名</th> <th>移転世帯数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>花屋敷団地 A棟</td> <td>20世帯</td> </tr> <tr> <td>B棟</td> <td>7世帯</td> </tr> <tr> <td>C棟</td> <td>28世帯</td> </tr> <tr> <td>絹延団地 1号棟</td> <td>1世帯</td> </tr> <tr> <td>2号棟</td> <td>4世帯</td> </tr> </tbody> </table>			団地名	移転世帯数	花屋敷団地 A棟	20世帯	B棟	7世帯	C棟	28世帯	絹延団地 1号棟	1世帯	2号棟	4世帯
団地名	移転世帯数														
花屋敷団地 A棟	20世帯														
B棟	7世帯														
C棟	28世帯														
絹延団地 1号棟	1世帯														
2号棟	4世帯														
	 <p>花屋敷団地 完成予想図</p>														
	 <p>鍵渡し会(令和3年6月30日開催)</p>														

・花屋敷団地建替事業の進捗率

令和元年度に着手した花屋敷団地建替事業は、令和3年度に住宅部分が完成し、供用を開始した。

(単位：%)

	元年度		2年度		3年度		4年度	
	9月	3月	9月	3月	9月	3月	9月	10月予定
予定	1.00	6.00	27.50	80.20	90.90	94.10	98.10	100.00
実績	0.65	6.00	26.60	78.00	90.90	93.80		



花屋敷団地 南側 住宅部分



花屋敷団地 北側 外構部分

5. 担当部長によるR3年度事業成果の自己評価及び後期基本計画の総括を含めた今後の方向性

R3年度事業成果の自己評価			左記(自己評価)の具体的説明
	有効性	効率性	<ul style="list-style-type: none"> 花屋敷団地建替事業は、これまで特に事故や工期遅延がなく、予定どおり住宅部分を完成させることができた。 花屋敷団地の住宅部分が完成したことに伴って、旧入居者の一次本移転を実施したが、支障なく円滑に完了させることができた。
大きく向上した。			
向上した。			
前年度の水準に留まった。			
前年度の水準を下回った。			
事業の課題			後期基本計画期間を振り返った上での令和4年度以降の方向性
<ul style="list-style-type: none"> 花屋敷団地建替事業を滞りなく進めるため、施工者などとの連絡や調整を綿密に行う必要がある。 花屋敷団地が竣工した後は、絹延団地からの2次移転を確実に進める必要がある。 			<p>【後期基本計画を振り返っての総括】</p> <p>川西市公営住宅基本計画に基づき、花屋敷団地の建替えと絹延団地との集約を実施し、当初の予定どおり順調に進められている。</p> <p>【令和4年度以降の方向性】</p> <p>令和4年度に施工する花屋敷団地の集会所部分について、引き続き円滑に工事が進めるとともに、竣工後は、絹延団地からの2次移転を確実に進める。</p>

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	住宅政策推進事業		決算書頁	284
視点・政策	01 暮らし・01 住む			
施策	10 ふるさと団地の再生を推進します			
所管部・課	都市政策部 住宅政策課	作成者	課長 萩倉 直	

2. 事業の目的

住宅ストックの流通、活用を促進して、良好な住環境を形成する

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		R3年度	R2年度	比較	財源		R3年度	R2年度	比較
内 人 件 費 減 価 償 却 費	総事業費	47,387	40,125	7,262	一般財源		34,986	33,385	1,601
	事業費	14,799	15,480	△ 681	国県支出金		12,401	6,640	5,761
	正・再任用職員	32,588	24,645	7,943	地方債				
	在職期間・会計年度任用職員				特定財源(その他)			100	△ 100
(参考) 正・再任用職員数(人)	正職員	4	3	1					
	再任用職員								

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	住宅政策推進事業	細事業事業費(千円)	14,799																																																			
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	審議会・検討会	団体等との共催・連携																																																				
(2) R3年度の取組と成果	<p>【戦略3】①空き家活用リフォーム助成(補助金)…10,250千円 ②空き家調査システムの運用(委託料)…2,194千円</p> <p>【戦略3】①空き家の流通・活用促進</p> <p><空き家マッチング制度> 空き家マッチング登録件数 (件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空き家所有者 登録件数</td> <td>12</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>空き家活用希望者 登録件数</td> <td>11</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>空き家マッチング 成約等件数</td> <td>2</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>空き家マッチング制度は、市場に流通していない空き家を掘り起こし、流通又は活用を促進するため、専門家等の協力を得ながら、空き家の所有者と活用希望者をつなぎ合わせることで流通を促進する。</p> <p><空き家活用リフォーム助成> 若年・子育て世帯が、築10年以上の市内の空き家を改修(機能回復、設備改善)する費用を助成した。(上限100万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">空き家活用リフォーム助成件数 (件数)</th> </tr> <tr> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p><空き家相談> 専門家による無料相談会をNPO法人と連携して、毎月1回開催した。相談内容は、空き家の相続や管理、売買、活用など。</p> <p>空き家相談件数 (件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">専門家相談</td> <td>開催回数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>R元年11月開始 相談件数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>10</td> <td>26</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td colspan="2">市への相談(窓口及び電話)</td> <td>115</td> <td>178</td> <td>114</td> <td>144</td> <td>111</td> </tr> </tbody> </table>				2年度	3年度	空き家所有者 登録件数	12	17	空き家活用希望者 登録件数	11	28	空き家マッチング 成約等件数	2	8	空き家活用リフォーム助成件数 (件数)				30年度	元年度	2年度	3年度	0	1	7	11			29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	専門家相談	開催回数	-	-	4	11	9	R元年11月開始 相談件数	-	-	10	26	17	市への相談(窓口及び電話)		115	178	114	144	111
	2年度	3年度																																																				
空き家所有者 登録件数	12	17																																																				
空き家活用希望者 登録件数	11	28																																																				
空き家マッチング 成約等件数	2	8																																																				
空き家活用リフォーム助成件数 (件数)																																																						
30年度	元年度	2年度	3年度																																																			
0	1	7	11																																																			
		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度																																																
専門家相談	開催回数	-	-	4	11	9																																																
	R元年11月開始 相談件数	-	-	10	26	17																																																
市への相談(窓口及び電話)		115	178	114	144	111																																																

②空き家調査システムの活用等

＜空家等対策計画改定に向けた空き家調査＞

令和2年度の実証実験を経て、令和3年度は、スマートフォンを使って空き家を調査できるアプリ「空き家しらべーたー」を東京のIT企業と協働開発し、運用を開始した。

また、空き家対策ナビゲーター（空き家対策の講座を修了した市民）の協力のもと、このアプリを使って効率的に、市内の空き家の実態を調査し、データベース化を進めた。調査データは、令和5年度に改定する川西市空家等対策計画にも活用する予定。

市内空き家調査の結果

	住宅戸数	空き家数	空き家率
北部	10,530	361	3.43%
中部	21,431	968	4.52%
南部	16,518	1,121	6.79%
合計	48,479	2,450	5.05%

※住宅戸数は、長屋、共同住宅を除く。

※空き家数は、市民調査員による外観目視調査につき、十分に管理された住宅を除く。

＜空き家対策の動画の発信＞

「空き家活用リフォーム助成」や「空き家マッチング制度」など、川西市の空き家対策の取り組みを紹介する動画を広報広聴課の協力のもと制作し、インターネットで配信した。

<https://www.youtube.com/watch?v=wh8-T4mKS58>

空き家対策の動画



＜空き家対策の連携＞

空き家対策の推進に関する連携協定を結ぶ「川西市、池田泉州銀行及び住宅金融支援機構」の三者で、空き家の利活用により移住・定住を促すためのパンフレットを作成し、窓口などで配付した。

パンフレット



5. 担当部長によるR3年度事業成果の自己評価及び後期基本計画の総括を含めた今後の方向性

R3年度事業成果の自己評価			左記（自己評価）の具体的説明
	有効性	効率性	
大きく向上した。			<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家活用リフォーム助成制度は、前年度よりも件数が大きく上昇した。（令和2年度：7件、令和3年度：11件） ・ 全国に先駆けて空き家調査アプリを開発し本格稼働するとともに、空き家調査のデータベースを構築した。 ・ 動画やパンフレットなど、空き家対策の啓発に活用するツールを作成することができた。
向上した。	○	○	
前年度の水準に留まった。			
前年度の水準を下回った。			
事業の課題			後期基本計画期間を振り返った上での令和4年度以降の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家マッチング制度は、登録者を増やし、対策のノウハウを蓄積するなどの取組みを重ねることで、マッチングの成果を高めていくことが求められる。 ・ 川西市空家等対策計画は、実態調査の結果を分析しつつ、国や上位計画との考え方と整合を図りながら改定作業を進める必要がある。 ・ 空き家対策は、行政の力だけでは実現できないことから、市民・NPO・民間企業などと連携して空き家対策を実施する必要がある。 			<p>【後期基本計画を振り返っての総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家マッチング制度、空き家活用リフォーム助成制度などを創設し、市民・NPO・民間企業と連携した空き家対策の活動が実践できたことは大きな成果となった。 <p>【令和4年度以降の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家対策の制度の運用を継続しつつ、市民・NPO・民間企業と連携した空き家対策の活動も進める。 ・ 空き家マッチング制度の成果を高めるため、空き家バンクを導入して、マッチング登録された物件を情報発信する。

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	商工振興事業		決算書頁	246
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう			
施策	11 商工業を振興します			
所管部・課	市民環境部	産業振興課	作成者	課長 大島 弘章

2. 事業の目的

商工業者の経営の安定と技術の改善・発展を支援する

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	R3年度	R2年度	比較	財源	R3年度	R2年度	比較
総事業費	123,887	479,497	△ 355,610	一般財源	31,569	39,581	△ 8,012
事業費	102,403	456,707	△ 354,304	国県支出金	92,175	204,977	△ 112,802
内訳				地方債			
人件費				特定財源(その他)	143	234,939	△ 234,796
正・再任用職員	16,294	16,430	△ 136				
非常勤職員・会計士							
減価償却費	5,190	6,360	△ 1,170				
(参考) 正・再任用職員数(人)	2	2					

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	商工振興事業	細事業事業費(千円)	101,785																																			
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等への補助	団体等との共催・連携	審議会・検討会																																			
(2) R3年度の取組と成果	<p>【戦略2】①ワーキングスペース開設支援(補助金)…2,188千円 ②新規出店支援(補助金)…565千円 ③商店街お買い物券事業支援(補助金等)…14,862千円 ④キャッシュレス決済活用事業者支援(業務委託料等)…69,031千円 ⑤川西市商工会支援(補助金)…13,000千円 【戦略2】⑥女性起業家サポート事業(業務委託料)…1,800千円</p> <p>【戦略2】①コワーキングスペース開設の支援 起業・テレワーク・副業等の多様な働き方に対応するため、コワーキングスペースを開設する事業者を支援した。 所在地:中央町 面積:141.88㎡ 席数:31席 市補助額:2,188千円(市独自1,300千円 県随伴分888千円)</p> <p>②新規出店の支援 魅力的な店舗の出店を促進しにぎわいを創出するため、小売業・飲食業で出店する事業者を支援した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>所在地</th> <th>業態</th> <th>補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>花屋敷1丁目</td> <td>沖縄料理店</td> <td>101千円</td> </tr> <tr> <td>多田桜木2丁目</td> <td>小料理店</td> <td>464千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>③商店街お買い物券事業への支援 消費を喚起し、商店街の活性化を図るため、商店街団体が実施するプレミアム付商品券事業を支援した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>販売商品券</th> <th>販売価格</th> <th>発行冊数</th> <th>販売金額</th> <th>利用金額</th> <th>利用率</th> <th>参加店舗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,000円分</td> <td>5,000円</td> <td>9,000冊</td> <td>54,000千円分</td> <td>53,819.5千円</td> <td>99.7%</td> <td>298店</td> </tr> </tbody> </table> <p>④キャッシュレス決済を活用した事業者支援 キャッシュレス決済サービスを活用したポイント付与により消費を喚起し、市内事業所の経営継続を支援した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>キャッシュレス決済</th> <th>ポイント付与率</th> <th>1回上限</th> <th>期間上限</th> <th>付与総数</th> <th>店舗数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PayPay</td> <td>20%</td> <td>1,000円分</td> <td>10,000円分</td> <td>約64,894千円分</td> <td>約850店</td> </tr> </tbody> </table>			所在地	業態	補助額	花屋敷1丁目	沖縄料理店	101千円	多田桜木2丁目	小料理店	464千円	販売商品券	販売価格	発行冊数	販売金額	利用金額	利用率	参加店舗	6,000円分	5,000円	9,000冊	54,000千円分	53,819.5千円	99.7%	298店	キャッシュレス決済	ポイント付与率	1回上限	期間上限	付与総数	店舗数	PayPay	20%	1,000円分	10,000円分	約64,894千円分	約850店
所在地	業態	補助額																																				
花屋敷1丁目	沖縄料理店	101千円																																				
多田桜木2丁目	小料理店	464千円																																				
販売商品券	販売価格	発行冊数	販売金額	利用金額	利用率	参加店舗																																
6,000円分	5,000円	9,000冊	54,000千円分	53,819.5千円	99.7%	298店																																
キャッシュレス決済	ポイント付与率	1回上限	期間上限	付与総数	店舗数																																	
PayPay	20%	1,000円分	10,000円分	約64,894千円分	約850店																																	



コワーキングスペース

⑤川西市商工会への支援

市内商工業の活性化、経営安定のための経営改善普及事業等に取り組む川西市商工会を支援した。

- 経営指導員による相談・指導 ・巡回指導 2,008件 ・窓口指導 675件 ・創業指導 31件
- 専門指導員による個別相談指導（経営）26件 ■金融のあっせん 25件

【戦略2】⑥女性起業サポート事業

起業を希望する女性に対し、起業を考え始めた段階から起業後のフォローまでを総合的に支援する「川西女性起業塾」を開催し、女性起業家の育成及び多様な働き方の醸成を図った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン形式で講座を行った。

- 各セミナー参加者 ・ブレ 7人（動画視聴6人） ・ベーシック 7回延べ74人 ・ステップアップ 2回延べ25人

<細事業2> マイナンバーカード活用消費活性化事業 細事業事業費（千円） 618

(1) 参画と協働の主な手法（実績）

(2) R3年度の取組と成果

主
な
取
組
①マイナポイント手続支援（報酬等）…2,931千円

国が令和2年度から実施しているマイナンバーカードを活用した消費活性化策について、広報・手続支援を実施。

	マイナンバーカード申請期限	国マイナポイント付で申込後に必要な手続	付与されるポイント	付与の対象期間
第1弾	令和3年4月未まで	キャッシュ決済でチャージまたは購入	金額の25% (最大5,000円分)	令和2年9月～3年12月未まで
第2弾	令和4年9月未まで	・第1弾と同内容に、下記2点を追加		令和4年1月～5年2月未まで
		マイナンバーカードの健康保険証利用申込	7,500円分	
		公金受取口座の登録	7,500円分	

- 支援実績 市役所 : 4,310件（4～9月末、1月～3月末は市民課前に特設ブースを設置）
行政センター：16件

5. 担当部長によるR3年度事業成果の自己評価及び後期基本計画の総括を含めた今後の方向性

R3年度事業成果の自己評価	左記（自己評価）の具体的説明															
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>有効性</th> <th>効率性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		有効性	効率性	大きく向上した。			向上した。	○	○	前年度の水準に留まった。			前年度の水準を下回った。			<ul style="list-style-type: none"> ・コワーキングスペースの開設で、起業やテレワーク、副業等の多様な働き方を実現しやすい環境ができた。また、利用者の交流も図られており、スキルアップ等も期待される。 ・新規出店支援により、店舗の魅力向上につながっている。加えて、専門家の相談支援を用意することで、必要とする対象者に経営改善のアドバイスができています。 ・キャッシュレス決済を活用した消費の喚起による事業者支援を行うことで、キャッシュレスの普及促進と市内の買い物促進ができた。
	有効性	効率性														
大きく向上した。																
向上した。	○	○														
前年度の水準に留まった。																
前年度の水準を下回った。																
<p>事業の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コワーキングスペースの利用をはじめとした場所にとらわれない働き方や、各自の状況に応じた働き方を紹介し、小さな起業を含む経済活動の活性化につなげる必要がある。 ・各地域の空き店舗などに出店者があることで、地域活性化に資することができるよう、新規出店者への支援を継続する。 ・キャッシュレス決済の設定支援を各行政センターへのブース設置やスマホ講座を通じて行ったが、高齢者層への丁寧な支援は継続して行う必要がある。 	<p>後期基本計画期間を振り返った上での令和4年度以降の方向性</p> <p>【後期基本計画を振り返ったの総括】 産業ビジョンを策定し、コロナ禍などの社会経済情勢の転換点に具体的な指針を持って対応できた。起業支援セミナーのオンライン化やコワーキングスペースの開設などで起業環境を整備するとともに、経済対策を通じたキャッシュレス化の推進ができた。</p> <p>【令和4年度以降の方向性】 コロナ禍と世界的な経済情勢の影響への対応を講じるため、令和2年度に策定した「ポストコロナを見据えた地域経済対策」に基づいて、産業ビジョン推進委員会での議論を通じてPDCAサイクルを回していく。</p>															

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	中小企業支援事業		決算書頁	246
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう			
施策	11 商工業を振興します			
所管部・課	市民環境部	産業振興課	作成者	課長 大島 弘章

2. 事業の目的

中小商工業者の経営基盤を確立し、地域商業を活性化する

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	R3年度	R2年度	比較	財源	R3年度	R2年度	比較
総事業費	196,694	105,755	90,939	一般財源	9,476	10,960	△ 1,484
事業費	188,547	97,540	91,007	国県支出金	178,268	83,089	95,179
内 人 正・再任用職員	8,147	8,215	△ 68	地方債			
件 任期付職員・会計士				特定財源(その他)	8,950	11,706	△ 2,756
誤 賃任用職員							
減価償却費							
(参考) 正・再任用職員	1	1					
用職員数(人)							

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	中小企業支援事業	細事業事業費(千円)	179,597																						
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等への委託																								
(2) R3年度の取組と成果																									
主 ①中小企業振興事業補助金の交付(補助金)…1,179千円																									
取 ②中小企業事業力向上対策補助金の交付(補助金等)…94,812千円																									
組 ③感染拡大防止協力金の支給(業務委託料)…83,452千円																									
①中小企業振興事業補助金の交付	<p>新商品や新技術の開発、環境省が策定したマネジメントシステム「エコアクション21」の認証、事業者の販路拡張などを目的とした見本市への出展に対して補助金を交付した。</p> <p>(実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>補助事業名</th> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>技術開発補助事業</td> <td>1</td> <td>769</td> </tr> <tr> <td>エコアクション21認証・登録補助金</td> <td>2</td> <td>164</td> </tr> <tr> <td>見本市出展補助事業</td> <td>3</td> <td>246</td> </tr> </tbody> </table>			補助事業名	件数	金額(千円)	技術開発補助事業	1	769	エコアクション21認証・登録補助金	2	164	見本市出展補助事業	3	246										
補助事業名	件数	金額(千円)																							
技術開発補助事業	1	769																							
エコアクション21認証・登録補助金	2	164																							
見本市出展補助事業	3	246																							
②中小企業事業力向上対策補助金の支給	<p>新型コロナウイルス感染症による経営環境の変化において、市内中小企業者が行う事業力の向上や感染防止対策に係る経費の一部を補助し、ポストコロナを見据えた経営力強化と事業継続支援を行った。</p> <p>(実績) ■申請件数: 312件 支給件数: 275件 支給総額: 94,092千円</p> <p>■業務委託: 川西市商工会(受付、審査) 委託料: 720千円</p>																								
③感染拡大防止協力金の支給	<p>緊急事態宣言等による飲食店等の休業や時短要請に応じた事業者に県が支給する協力金について、業務委託料として市負担額を支払った。</p> <p>(実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>休業等要請期間</th> <th>支給件数</th> <th>支給総額</th> <th>委託料(市負担額)</th> <th>市負担割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1期</td> <td>R3.1/14~2/7</td> <td>411件</td> <td>558,060千円</td> <td>37,204千円(内R3年度 23,848千円)</td> <td rowspan="3">1/15</td> </tr> <tr> <td>第2期</td> <td>R3.2/8~3/7</td> <td>772件</td> <td>558,500千円</td> <td>37,234千円</td> </tr> <tr> <td>第3期</td> <td>R3.4/1~4/24</td> <td>778件</td> <td>335,537千円</td> <td>22,370千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※第4期以後は県単独事業として実施され、市負担は無し</p>				休業等要請期間	支給件数	支給総額	委託料(市負担額)	市負担割合	第1期	R3.1/14~2/7	411件	558,060千円	37,204千円(内R3年度 23,848千円)	1/15	第2期	R3.2/8~3/7	772件	558,500千円	37,234千円	第3期	R3.4/1~4/24	778件	335,537千円	22,370千円
	休業等要請期間	支給件数	支給総額	委託料(市負担額)	市負担割合																				
第1期	R3.1/14~2/7	411件	558,060千円	37,204千円(内R3年度 23,848千円)	1/15																				
第2期	R3.2/8~3/7	772件	558,500千円	37,234千円																					
第3期	R3.4/1~4/24	778件	335,537千円	22,370千円																					

<細事業2>	中小企業融資あっせん事業	細事業事業費（千円）	8,950			
(1) 参画と協働の主な手法（実績）						
(2) R3年度を取組と成果						
主 な 取 組	中小企業融資あっせん事業（預託金）…8,950千円					
<p>川西市中小企業振興資金融資あっせん制度として、取扱金融機関及び兵庫県信用保証協会の協力を得て、市内中小企業者を育成、助長することを目的に、原則として「低利」「固定」で各種事業資金の融資あっせんを行った。</p> <p>また、中小企業信用保険法に基づき、新型コロナウイルス感染症により影響を受ける中小企業者への資金繰り支援として、保証限度額の別枠化に係る各認定を行った。</p>						
○融資あっせん制度貸与残高（単位：円）		○中小企業信用保険法による認定件数（単位：件）				
貸付年度	件数	R2年度末残高	件数	R3年度末残高		
H11	1	2,565,000	1	2,445,000		
H19	1	4,213,000	1	3,901,000		
H20	1	2,116,000	1	1,948,000		
H26	1	448,000	0	0		
H28	1	1,500,000	1	660,000		
H29	2	3,840,000	2	2,160,000		
H30	6	10,228,000	6	6,976,000		
R1	4	6,520,800	4	4,948,800		
合計	17	31,430,800	16	23,038,800		
		年度	SN4号	SN5号	6項	合計
		R2	430	134	486	1,050
		R3	35	8	52	95
<p>■認定条件</p> <p>原則、売上高等が前年同月比で規定割合以上減少</p>						
<p>■認定区分</p> <p>4号：突発的災害（新型コロナウイルス感染症）</p> <p>令和2年3月2日より全都道府県を対象に指定</p> <p>5号：業務の悪化している業種</p> <p>6号：危機関連保証（大規模な経済危機等への対応）</p> <p>令和2年3月13日～令和3年12月31日</p>						
<p>※令和元年度で新規貸付を終了し、令和2年度以降は取扱金融機関に対して貸付残高の4分の1の額である8,950千円の預託のみを実施。</p>						

5. 担当部長によるR3年度事業成果の自己評価及び後期基本計画の総括を含めた今後の方向性

R3年度事業成果の自己評価		左記（自己評価）の具体的説明	
	有効性	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍により飲食店をはじめ多くの市内事業者が大幅な売上減少に見舞われたが、国・県の支援策に合わせて、迅速かつきめ細かな案内や支援を行った。 ポストコロナを見据えた経営力強化と事業継続支援を行ったことで、ICT化や設備更新、新事業展開を促進できた。 セーフティネット保証の認定を迅速に行い、事業者の経営継続につなげた。
大きく向上した。			
向上した。	○	○	
前年度の水準に留まった。			
前年度の水準を下回った。			
事業の課題		後期基本計画期間を振り返った上での令和4年度以降の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の影響に加え、原材料・原油高の影響が出ており、国・県の支援策と協調した市内事業者支援策を検討・実施する必要がある。 市内中小企業者の経営力強化には、川西市商工会と連携した取り組みが必須であり、引き続き、協力体制の強化を図る。 		<p>【後期基本計画を振り返ったの総括】</p> <p>産業ビジョンに基づき、市内中小企業を対象とした補助制度や融資あっせん制度の見直しを行ってきた。また、コロナ禍などで大きく変化する環境下での事業継続や積極的な事業展開を試みる事業者への支援を行ってきた。</p> <p>【令和4年度以降の方向性】</p> <p>引き続き、事業継続や環境変化に対応する中小企業者の支援を行い市内総生産と働く場の維持・向上を図る。また、舎羅林山開発事業などによる事業所立地の進展による産業構造の変化に対応し、国・県の制度の活用や市の支援策の更新を進めていく。</p>	

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	中心市街地活性化推進事業	決算書頁	248
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう		
施策	12 中心市街地の活性化を推進します		
所管部・課	市民環境部 産業振興課	作成者	課長 大島 弘章

2. 事業の目的

中心市街地における都市機能の増進及び経済活力の向上を図る

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	R3年度	R2年度	比較	財源	R3年度	R2年度	比較
総事業費	27,573	25,165	2,408	一般財源	27,573	23,737	3,836
事業費	19,426	16,950	2,476	国県支出金			
内訳				地方債			
人件費	8,147	8,215	△ 68	特定財源(その他)		1,428	△ 1,428
減価償却費							
(参考) 正・再任用職員	1	1					
用職員数(人)							

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	中心市街地活性化推進事業	細事業事業費(千円)	19,426																																							
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等への補助	審議会・検討会																																								
(2) R3年度の取組と成果	<p>【戦略2】①川西市中心市街地活性化協議会への事業運営支援(補助金)…16,643千円</p> <p>【戦略2】②中心市街地内開催イベントの実行委員会への支援(補助金)…1,200千円</p> <p>【戦略2】③中心市街地への新規出店支援(補助金)…1,403千円</p> <p>【戦略2】④川西市中心市街地活性化協議会への事業運営支援</p> <p>川西市中心市街地活性化協議会に助成金を交付し、各事業実施や協議会運営の支援を行った。</p> <p>○タウンマネージャー事業</p> <p>商業者や地域団体との連携強化、事業の企画・運営、人材の発掘・育成などを担うタウンマネージャーを登用し、中心市街地活性化の推進体制を構築した。(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数</td> <td>238</td> <td>212</td> <td>212</td> </tr> <tr> <td>内イベント件数</td> <td>46</td> <td>25</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>イベント来場者数</td> <td>11,440</td> <td>1,320</td> <td>1,740</td> </tr> </tbody> </table> <p>○藤ノ木さんかく広場運営事業</p> <p>当広場を日常的な賑わいが生まれるイベント広場として活用し、更なるにぎわい創出及び中心市街地エリアの回遊性向上を図った。</p> <p>○ペDESTリアンデッキにぎわい活用事業</p> <p>道路管理者と連携し、川西能勢口駅北側デッキ及び南側デッキでにぎわいイベントを計6回開催し、来街者の増加を図った。</p> <p>■開催日</p> <p>R3.6.26(土)、7.24(土)、10.30(土)</p> <p>R3.11.27(土)、12.4(土)、R4.1.22(土)</p> <p>○まちなか滞留・実感調査</p> <p>中心市街地の来街状況や回遊動向を把握するため、歩行者・自転車通行量などの調査を行った。</p> <p>平日：R3.10.29(金) (9時～20時) 晴れ</p> <p>休日：R3.10.30(土) (9時～20時) 晴れ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">平日</td> <td>川西能勢口駅周辺4地点</td> <td>36,684</td> <td>34,986</td> <td>36,867</td> </tr> <tr> <td>キセラ川西地区周辺2地点</td> <td>-</td> <td>2,823</td> <td>3,660</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">休日</td> <td>川西能勢口駅周辺4地点</td> <td>37,332</td> <td>32,289</td> <td>39,855</td> </tr> <tr> <td>キセラ川西地区周辺2地点</td> <td>-</td> <td>4,398</td> <td>4,974</td> </tr> </tbody> </table>				R1年度	R2年度	R3年度	利用件数	238	212	212	内イベント件数	46	25	19	イベント来場者数	11,440	1,320	1,740			R1年度	R2年度	R3年度	平日	川西能勢口駅周辺4地点	36,684	34,986	36,867	キセラ川西地区周辺2地点	-	2,823	3,660	休日	川西能勢口駅周辺4地点	37,332	32,289	39,855	キセラ川西地区周辺2地点	-	4,398	4,974
	R1年度	R2年度	R3年度																																							
利用件数	238	212	212																																							
内イベント件数	46	25	19																																							
イベント来場者数	11,440	1,320	1,740																																							
		R1年度	R2年度	R3年度																																						
平日	川西能勢口駅周辺4地点	36,684	34,986	36,867																																						
	キセラ川西地区周辺2地点	-	2,823	3,660																																						
休日	川西能勢口駅周辺4地点	37,332	32,289	39,855																																						
	キセラ川西地区周辺2地点	-	4,398	4,974																																						

※調査地点を、R2年度から変更し、キセラ川西地区周辺2地点を追加。

【戦略2】②中心市街地内開催イベントの実行委員会への支援

各実行委員会が川西能勢口駅周辺等で開催するイルミネーションイベントへの補助を行い、にぎわいを創出した。

実行委員会名	期間	場所
かわにし能勢口まつり実行委員会	R3.12.4(土)～R3.12.25(土)	藤ノ木さんかく広場周辺
川西市中心市街地 イルミネーション事業実行委員会	R3.12.4(土)～R3.2.28(月)	川西能勢口駅南側デッキ周辺 川西池田駅前ロータリー



中心市街地イルミネーション事業



かわにし能勢口まつり

【戦略2】③中心市街地への新規出店支援

中心市街地へ魅力的な店舗の出店を促進しにぎわいを創出するため、小売業・飲食業で出店する事業者の店舗工事費や開店後6か月目から12か月間の賃借料を対象に補助した。

所在地	業態	補助額(工事費)	補助額(賃借料)
栄町	家具・雑貨販売店	500千円	132千円
栄町	化粧品・健康器具販売店	500千円	—
小花1丁目	パン製造販売・カフェ	271千円	—

5. 担当部長によるR3年度事業成果の自己評価及び後期基本計画の総括を含めた今後の方向性

R3年度事業成果の自己評価			左記(自己評価)の具体的説明
	有効性	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍でも可能な、藤ノ木さんかく広場へのキッチンカー出店や駅前デッキ活用イベントなど、屋外公共空間を活用したにぎわいづくりに取り組んだ。 ・ 中心市街地の回遊性の評価指標である、歩行者・自転車通行量が平日・土日とも増加し、コロナ禍前の水準に戻りつつある。 ・ 今年度から新たに開始した新規出店補助事業では、中心市街地へ新たに新出店する事業者の魅力的な店舗づくりを3件支援した。
大きく向上した。			
向上した。	○		
前年度の水準に留まった。		○	
前年度の水準を下回った。			
事業の課題			後期基本計画期間を振り返った上での令和4年度以降の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 屋外公共空間の活用は、現状イベント開催として可能な状況であるが、日常的なにぎわいづくりの場としては、設備面・運営面に課題がある。 ・ 新規出店補助事業では、申請者の出店希望時期に柔軟に対応できないケースもあり、制度の趣旨に沿ってより使いやすしいものとするよう検討する。 ・ 中心市街地の活性化を自立的に継続できる推進体制づくりと、現在の第3期計画完了後の取組方針を示す必要がある。 			<p>【後期基本計画を振り返ったの総括】</p> <p>令和元年度までの第2期中活基本計画でキセラ川西地区の整備を推進し、令和2年度からの第3期で川西能勢口駅周辺とキセラ川西地区の回遊性の向上に取り組んでいる。コロナ禍でも可能なにぎわいづくりを行い、新たな可能性を見出すことができた。</p> <p>【令和4年度以降の方向性】</p> <p>中心市街地の屋外公共空間の活用がより開かれたものとするため、適用可能な制度を検討するとともに、この運営が自立的に可能な体制づくりを進める。また、引き続き魅力的な店舗の立地が促進できるよう、補助制度の周知を図る。</p>

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	農業振興事業		決算書頁	242
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう			
施策	13 農業を振興します			
所管部・課	市民環境部 産業振興課	作成者	課長 山口 順子	

2. 事業の目的



地域農産物の生産を振興するとともに地産地消を推進する

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		R3年度	R2年度	比較	財源		R3年度	R2年度	比較
内 人 件 費 減価償却費	総事業費	39,153	44,780	△ 5,627	一般財源		38,019	39,329	△ 1,310
	事業費	3,176	10,458	△ 7,282	国県支出金		1,134	5,451	△ 4,317
	正・再任用職員	32,588	32,860	△ 272	地方債				
	在任期職員・会計年度任用職員	3,389	1,462	1,927	特定財源(その他)				
(参考) 正・再任用職員数(人)	正職員	4	4						
	再任用職員								

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	水田農業総合対策事業	細事業事業費(千円)	800																														
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等への補助																																
(2) R3年度の取組と成果	<p>主 な 取 組</p> <p>①川西市農業再生協議会の運営支援(補助金等)…686千円 ②耕作放棄地の解消と担い手育成支援</p> <p>①川西市農業再生協議会の運営 (目的) 農家の経営を支援し自給率向上などを図るため農業者団体との連帯体制の構築、地域農業の振興を行う。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th></th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>営農計画書の提出者(人)</td> <td>577</td> <td>560</td> <td>554</td> <td>554</td> <td>転作面積(a)</td> <td>6,122.88</td> <td>6,144.13</td> <td>6,004.46</td> <td>6,130.78</td> </tr> <tr> <td>出荷伝票の提出者(人)</td> <td>75</td> <td>76</td> <td>72</td> <td>73</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※営農計画書…農地所有者が今年度の土地利用(作付け)計画を記載した書類</p> <p>②耕作放棄地の解消と担い手育成支援 (目的) 農業経営基盤強化促進法に基づき、法的な制限の緩和等を活用した耕作放棄地の解消と担い手の育成を行う。 (事業実績) ○市民ファーマー制度：非農家であっても一定の栽培経験がある人が、小規模な農地(1～10アール)を借り、農業を始めることができる制度 契約者数：2人 ○農業担い手づくり事業：矢問農園でJAによる農業講習会を開催。受講後、市民ファーマー制度等の就農に向けたステップアップを推進する。</p>				H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	営農計画書の提出者(人)	577	560	554	554	転作面積(a)	6,122.88	6,144.13	6,004.46	6,130.78	出荷伝票の提出者(人)	75	76	72	73					
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度																								
営農計画書の提出者(人)	577	560	554	554	転作面積(a)	6,122.88	6,144.13	6,004.46	6,130.78																								
出荷伝票の提出者(人)	75	76	72	73																													
	 																																

<細事業2>	農業振興推進事業	細事業事業費（千円）	2,376		
(1) 参画と協働の主な手法（実績）		団体等への補助			
(2) R3年度の取組と成果					
主 な 取 組	【戦略4】①川西市農林業団体への支援（補助金）…466千円				
	②有害鳥獣等捕獲（報償費）…1,158千円				
	③ウメ輪紋病強化対策（委託費等）…0千円（事業はR3に終了したが、県による説明会を伊丹市で実施した）				
【戦略4】①川西市農業振興研究会への支援					
(目的) 農林業の健全な発達と振興及び地域の活性化を図るために、各種団体で組織された研究会又は団体に補助金を交付することにより、農林業及び経済の発展向上に寄与する。					
(実績) 即売会の来場者数					
(単位：人)					
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
桃の即売会	590	620	感染症拡大防止のため中止	感染症拡大防止のため中止	
いちじくの品評即売会	470	台風により中止	中止	天候不良のため中止	
②有害鳥獣等捕獲頭数					
(目的) 猟友会に対して捕獲を依頼することにより、農作物等の鳥獣被害を防止する。					
(単位：頭)					
	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
アライグマ	92	87	100	109	103
ヌートリア	2	2	1	0	7
イノシシ	98	95	88	102	30
シカ	94	60	71	66	53
※一部地域で銃猟の許可を行い、イノシシ6頭及びシカ10頭を捕獲した。					

5. 担当部長によるR3年度事業成果の自己評価及び後期基本計画の総括を含めた今後の方向性

R3年度事業成果の自己評価		左記（自己評価）の具体的説明
	有効性	効率性
大きく向上した。		
向上した。	○	
前年度の水準に留まった。		○
前年度の水準を下回った。		
事業の課題 ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、各種農業振興イベントの実施が困難な為、新たな手法を検討する必要がある。 ・耕作放棄地を活用できる担い手を確保する必要がある。 ・一定数の捕獲・処分の成果が上がっているが、農作物被害は無くなっていないため、引き続き県猟友会川西支部と連帯し、イノシシ・シカの捕獲・処分を行い個体数調整を図っていく。		後期基本計画期間を振り返った上での令和4年度以降の方向性 【後期基本計画を振り返っての総括】 耕作放棄地の解消や担い手の育成については、市民ファーマー制度の見直しと、市農業委員会と協力し農地バンクの創設を行うことで就農希望者が活用しやすく、持続可能な制度を設立できた。 【令和4年度以降の方向性】 農地バンクへの登録を促すことに加え、引き続き、農業の担い手づくり事業を行い市民ファーマー制度などの次のステップにつなげることで、担い手の確保に努める。

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	農業用施設改良事業			決算書頁	244
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう				
施策	13 農業を振興します				
所管部・課	市民環境部	産業振興課	作成者	課長 山口 順子	

2. 事業の目的

ため池の安全を確保するとともに、農業用水を安定的に供給する

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	R3年度	R2年度	比較	財源	R3年度	R2年度	比較
総事業費	51,253	99,264	△ 48,011	一般財源	49,504	48,575	929
事業費	10,351	58,510	△ 48,159	国県支出金	22	27,629	△ 27,607
内訳	正・再任用職員			地方債		10,700	△ 10,700
	任期付・会計年度任用職員			特定財源(その他)	1,727	12,360	△ 10,633
減価償却費	40,902	40,754	148				
(参考) 正・再任用職員数(人)	正職員						
	再任用職員						

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	農業用施設改良事業	細事業事業費(千円)	10,351	
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等への補助	団体等への委託		
(2) R3年度の取組と成果	<p>①農業用施設等の改良に対する支援(補助金)…618千円</p> <p>②農業用水路の補修工事(工作物工事費)…5,055千円</p> <p>③加茂井堰保守管理委託料(設備保守管理委託料、業務委託料)…3,240千円</p>			
主な取組	<p>④農業用施設等の改良に対する支援</p> <p>(目的) 農業用施設等の改修に要する費用について、市が補助を行うことにより、農地の安全と農業生産力の向上を図ることを目的とする。</p> <p>(補助制度) ア 農業用施設応急改良事業費補助金 補助割合 1/2 (上限10万円)</p> <p>イ 農業用施設改良事業費補助金 補助割合 1/2 (予算の範囲内)</p>			
(事業実績)	補助制度	対象地区	工事内容	補助額(円)
	ア	加茂地区	水路水漏れ修繕	100,000
		西多田地区	乳母ヶ池フェンス修繕	87,450
		笹部地区	大溝猿坂送水杭下流側会所高上げ工事	100,000
		一庫地区	漏水箇所補修工事	88,000
	イ	新田地区	水路水漏れ改修工事	242,330
		合計		617,780
	<p>○新田地区水路水漏れ改修工事</p> <p>・着工前</p>			
		施工後		

②農業用水路の補修工事（加茂5丁目地内水路補修工事）

（目的）川西市が所有者となっている農業用水路の改修を行うことにより、農業用施設の機能回復を図りつつ、農地の安全と農業生産力の向上を図ることを目的とする。

（施工内容）水路が全体的に老朽化しており、その影響により破損箇所から漏水が発生し、畑作物栽培に適さない状況であったため、劣化部分に塗工し復旧作業を行った。

・着工前



・施工後



③加茂井堰保守管理委託料

（目的）河川より農業用水を取水するために設置されているファブリダムの保守管理を行うことにより、農業用施設の維持を図ることを目的とする。

業務名称	委託内容	金額（円）
加茂井堰保守点検業務	ゴム堰本体、水門等設備全般の保守点検	1,353,000
加茂井堰放流警報装置等保守点検業務	放流警報装置等の保守点検及び倒伏動作試験	528,000
加茂井堰に係る3社総合動作保守点検	水位計、量水板の保守点検及び動作確認試験	165,000
加茂井堰夜間等保守管理業務	執務時間外におけるファブリダム、樋門ゲートの操作及び保守管理業務	1,193,500
合 計		3,239,500



5. 担当部長によるR3年度事業成果の自己評価及び後期基本計画の総括を含めた今後の方向性

R3年度事業成果の自己評価			左記（自己評価）の具体的説明
	有効性	効率性	<ul style="list-style-type: none"> 水路やため池等の農業用施設の改修工事に関する地元からの要望を正確に把握し、改修にかかる経費の補助を行う等、農地の保全に努めた。
大きく向上した。			
向上した。			
前年度の水準に留まった。	○	○	
前年度の水準を下回った。			
事業の課題			後期基本計画期間を振り返った上での令和4年度以降の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ため池や水路、樋門等農業用施設の老朽化に伴い、増加傾向にある地元からの相談に対応する必要がある。 加茂井堰の竣工から20年が経過し、老朽化が進んでいる。あと約10年で耐用年数を迎えることから、更新に向けての計画を立てる必要がある。 			<p>【後期基本計画を振り返ったの総括】</p> <p>地元水利組合等が農業用施設の補修や改修の工事を実施することで、農業用施設の適切な管理やため池などの保全を行うことができた。</p> <p>【令和4年度以降の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市の農業振興のため、農業用施設の適切な管理や、補修について地元水利組合等と連携しながら補修や改修の支援を行う。 ファブリダムの更新や維持管理にかかる費用の分担などについて、関係機関と協議していく。

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	農業用施設等災害復旧事業	決算書頁	360
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう		
施策	13 農業を振興します		
所管部・課	市民環境部 産業振興課	作成者	課長 山口 順子

2. 事業の目的

災害により被災した農業用施設等を復旧する

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	R3年度	R2年度	比較	財源	R3年度	R2年度	比較
総事業費	7,602	4,175	3,427	一般財源	7,602	1,015	6,587
事業費	7,602	4,175	3,427	国県支出金		3,160	△ 3,160
内訳	正・再任用職員			地方債			
	在期付・会計年度任用職員			特定財源(その他)			
	減価償却費						
(参考) 正・再任用職員数(人)							

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業 1>	農業用施設等災害復旧事業	細事業事業費(千円)	7,602
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等との共催・連携		
(2) R3年度の取組と成果			
主な取組	久代北台井堰護岸修繕工事(工事費)…7,602千円		
【工事名称】	久代北台井堰護岸修繕工事		
【施工場所】	川西市下加茂1丁目 地先		
【工事理由】	令和2年7月豪雨により、左岸(池田市側)の護岸に損傷が生じたため、損傷箇所の修繕を行うことにより、近隣住民の安全を守るとともに、農業用施設としての機能を回復するものである。		
・工事着手前			

・ 施工中



・ 完成後



5. 担当部長によるR3年度事業成果の自己評価及び後期基本計画の総括を含めた今後の方向性

R3年度事業成果の自己評価			左記（自己評価）の具体的説明
	有効性	効率性	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年7月豪雨による被災状況を把握し、修繕工事を行うことで、農業用施設の機能性や安全性を確保した。
大きく向上した。			
向上した。			
前年度の水準に留まった。	○	○	
前年度の水準を下回った。			
事業の課題			後期基本計画期間を振り返った上での令和4年度以降の方向性
<ul style="list-style-type: none"> 近年、異常気象による豪雨等の災害が頻発しており、災害発生時に迅速に対応できるよう、生産組合等の地元団体と連携を図る必要がある。 より迅速に被災状況を把握し対応できるよう、災害対策体制を強化する必要がある。 			<p>【後期基本計画を振り返っての総括】</p> <p>異常気象により豪雨等の災害が頻発したが、迅速に被災状況を把握し、市補助金を交付することによって、農業用施設等の災害復旧を完了させることができた。</p> <p>【令和4年度以降の方向性】</p> <p>農業用施設等の災害時の対応について、平時より土木担当部局等と連携体制の再確認を行い、さらなる災害対応体制の強化を図る。</p>

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	就労支援事業		決算書頁	238
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう			
施策	14 就労支援の充実と勤労者福祉の向上を図ります			
所管部・課	市民環境部 産業振興課	作成者	課長 大島 弘章	

2. 事業の目的

職業紹介や求人情報の提供による安定した雇用機会を提供する

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		R3年度	R2年度	比較	財源		R3年度	R2年度	比較
内訳	総事業費	7,590	7,319	271	一般財源		4,236	4,270	△ 34
	事業費	4,913	4,787	126	国県支出金		285		285
	人件費				地方債				
	減価償却費				特定財源(その他)		3,069	3,049	20
(参考) 正・再任用職員数(人)	正職員 再任用職員								

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	就労支援事業	細事業事業費(千円)	4,913	
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	講座・フォーラム			
(2) R3年度の取組と成果	<p>主 取 組</p> <p>①川西しごと・サポートセンター及び若者キャリアサポート川西の運営(報酬等)…2,531千円 ②川西しごと・サポートセンターの管理(負担金)…2,229千円</p> <p>【川西市雇用対策協定に基づく事業実施及び労働局との連携】 「川西市雇用対策協定」に基づき、作業部会及び運営協議会を設置し、事業の実施状況や課題を共有することで、兵庫労働局との連携強化と雇用・労働環境の改善などに取り組んだ。また、共有した課題や当年度の事業実績を反映し、令和4年度事業計画を策定した。 ■作業部会 令和3年10月28日、令和4年2月14日 ■運営協議会 令和4年3月18日</p> <p>①川西しごと・サポートセンターの運営 兵庫労働局との一体的実施事業として川西しごと・サポートセンターを設置し、職業相談・紹介とセミナー開催等を行い求職者を支援した。</p> <p>○川西市の役割 ■市の各種支援制度の情報提供及び相談 ■労働相談(月2回) ■各種(生活・介護等)相談及び支援機関の情報提供 ■キャリアカウンセリング(月4回) ■就労希望者等の職業相談への誘導 ■キャリアデザインセミナー(年5回)</p> <p>○兵庫労働局の役割 ■ハローワークインターネットサービス端末の設置(6台) ■求職者に対する職業相談、職業紹介 ■市が実施する労働相談等の利用動向</p>			
(実績) 川西・しごとサポートセンター (人、件)				
	H30	R1	R2	R3
来所者数	25,158	27,135	24,772	19,570
新規求職者数	1,481	1,442	1,657	1,566
職業紹介件数	4,059	4,058	3,805	3,295
就職件数	1,037	922	668	608

②若者キャリアサポート川西の運営

同センター内に兵庫労働局事業の「若者キャリアサポート川西」を併設し、概ね40歳未満を対象に職業相談とセミナー、面接会を行い求職者を支援した。

(実績) 若者キャリアサポート川西 (人、件)

○若者サポート事業

- 相談窓口の設置 (受付、利用登録、専門家による相談予約)
- キャリア形成支援のための相談 (週5日)
- 社労士による労働条件、生活支援相談 (週1日)

	H30	R1	R2	R3
相談来所者数	865	839	448	569
新規求職者数	218	192	117	109
就職件数	136	137	41	87

(参加者数)

○就職支援セミナー (各年間1回実施)

- 応募書類作成支援 (令和3年10月11日)
- 就労への意識啓発支援 (令和3年11月8日)
- 自己理解支援 (令和3年11月29日)
- 採用面接支援 (令和4年2月7日)

	H30	R1	R2	R3
合同就職会in川西	66	84	30	29
就職支援セミナー	27	29	23	21
キャリアカウンセリング	554	554	340	433
労働・生活相談	66	66	44	57
合計	713	733	437	540

○合同就職面接会 (令和4年2月22日)

参加事業所数：15社
 参加求職者：29名 応募件数：54件
 内定数：12件 (内定率：22.2%)
 採用数：4名(採用率：13.7%)



合同就職面接

【戦略2】川西市障がい者トライアル雇用奨励金・継続雇用奨励金

事業者が障がい者雇用の理解を深め、障がい者の雇用機会の拡大及び定着を図ることを目的に、障がい者を試行雇用(トライアル雇用)し、継続雇用する事業主への奨励金制度を設けた。(問合せ 5件、申請 0件)

5. 担当部長によるR3年度事業成果の自己評価及び後期基本計画の総括を含めた今後の方向性

R3年度事業成果の自己評価	左記(自己評価)の具体的説明															
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>有効性</th> <th>効率性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		有効性	効率性	大きく向上した。			向上した。	○		前年度の水準に留まった。		○	前年度の水準を下回った。			<ul style="list-style-type: none"> ・雇用対策協定に基づき、当年度事業計画に定めた事業を実施し、コロナ禍により悪化する雇用情勢に対応した。また、令和4年度の事業計画を策定した。 ・川西市障がい者トライアル雇用奨励金・継続雇用奨励金の制度を年度当初から受付開始し、関係機関との連携のもと周知を図った。 ・同センターの新規求職者数は増加傾向にあるが、就職者数は減少している。若者キャリアサポート川西の新規求職者数は減少したものの、就職件数は昨年度の2倍強となった。
	有効性	効率性														
大きく向上した。																
向上した。	○															
前年度の水準に留まった。		○														
前年度の水準を下回った。																
<p>事業の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同センター利用者の就職者数が減少しているため、ニーズに応じた就労支援サービスをハローワーク伊丹と連携して提供する。 ・川西市障がい者トライアル雇用奨励金・継続雇用奨励金について、関係機関を通じて市内外の事業者にも周知し、障がい者の雇用を促進する。 ・同センター内の感染防止対策のため、受付システムの導入を検討しているが、わかりやすくスムーズな対応ができる設置方法の検討が必要。 	<p>後期基本計画期間を振り返った上での令和4年度以降の方向性</p> <p>【後期基本計画を振り返っての総括】</p> <p>コロナ禍などの影響による雇用情勢の悪化が継続し、新規求職者数は増加傾向にある。一方で人手不足が続く業種がある。兵庫労働局と締結した「川西市雇用対策協定」で若年者・障がい者などの就労支援を促進する体制ができ、効果的な事業実施を進めた。</p> <p>【令和4年度以降の方向性】</p> <p>兵庫労働局やハローワーク伊丹と連携し、同センターの就労支援サービスの充実を検討する。また、若年者・子育て世代・障がい者などの就労支援について関係団体と情報共有し、具体的施策を推進していく。</p>															

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	労働者支援事業		決算書頁	238
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう			
施策	14 就労支援の充実と勤労者福祉の向上を図ります			
所管部・課	市民環境部	産業振興課	作成者	課長 大島 弘章

2. 事業の目的

勤労者及び就労希望者を支援する

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	R3年度	R2年度	比較	財源	R3年度	R2年度	比較
総事業費	26,509	27,492	△ 983	一般財源	22,904	22,593	311
事業費	10,215	11,062	△ 847	国県支出金	2,525	2,499	26
内訳				地方債			
人件費	16,294	16,430	△ 136	特定財源(その他)	1,080	2,400	△ 1,320
減価償却費							
(参考) 正・再任用職員数(人)	2	2					

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	労働者支援事業	細事業事業費(千円)	9,135																																			
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等への補助																																					
(2) R3年度の取組と成果																																						
主な取組	①キャリアカウンセリング、労働相談(相談員報償費)…490千円 ②若年者就労体験支援事業(運営委託経費)…4,999千円 【戦略2】キャリアデザインセミナー(講師謝礼)…115千円																																					
①キャリアカウンセリング、労働相談	専門カウンセラーによるキャリアカウンセリングと労働間トラブルの解決の場として労働相談を実施した。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>キャリアカウンセリング</td> <td>138(153)</td> <td>132(144)</td> <td>81(96)</td> <td>50(55)</td> </tr> <tr> <td>労働相談</td> <td>29(30)</td> <td>28(28)</td> <td>30(31)</td> <td>20(21)</td> </tr> </tbody> </table> (実績) キャリアカウンセリング・労働相談の利用者数			項目	H30	R1	R2	R3	キャリアカウンセリング	138(153)	132(144)	81(96)	50(55)	労働相談	29(30)	28(28)	30(31)	20(21)																				
項目	H30	R1	R2	R3																																		
キャリアカウンセリング	138(153)	132(144)	81(96)	50(55)																																		
労働相談	29(30)	28(28)	30(31)	20(21)																																		
②若年者就労体験支援事業	市内在住の39歳以下の未就職者を対象に、就労を体験することで、円滑な就職に結びつけるプログラムを提供した。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体験者数</td> <td>19</td> <td>24</td> <td>15</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>就職決定者</td> <td>17</td> <td>19</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>(うち正社員)</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>(うち非正規社員)</td> <td>14</td> <td>16</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>決定率</td> <td>89.5%</td> <td>79.2%</td> <td>73.3%</td> <td>57.9%</td> </tr> <tr> <td>(うち正社員決定率)</td> <td>17.6%</td> <td>15.8%</td> <td>54.5%</td> <td>45.5%</td> </tr> </tbody> </table> ※ () 内は延べ相談回数			項目	H30	R1	R2	R3	体験者数	19	24	15	19	就職決定者	17	19	11	11	(うち正社員)	3	3	6	5	(うち非正規社員)	14	16	5	6	決定率	89.5%	79.2%	73.3%	57.9%	(うち正社員決定率)	17.6%	15.8%	54.5%	45.5%
項目	H30	R1	R2	R3																																		
体験者数	19	24	15	19																																		
就職決定者	17	19	11	11																																		
(うち正社員)	3	3	6	5																																		
(うち非正規社員)	14	16	5	6																																		
決定率	89.5%	79.2%	73.3%	57.9%																																		
(うち正社員決定率)	17.6%	15.8%	54.5%	45.5%																																		
【戦略2】③キャリアデザインセミナー	多様な働き方の推進及び再就職支援を目的としたセミナーを、男女共同参画センターと共同開催した。 <ul style="list-style-type: none"> ■令和3年9月6日 「わたしのキャリアをデザインする」 参加者12名 ■令和3年9月29日 「再就職のための自己分析セミナー」 参加者15名 ■令和3年10月22日 「働く女性のストレスマネジメントとマインドフルネス」 参加者22名 ■令和3年11月19日 「私にもできる在宅ワーク」 参加者13名 ■令和3年12月17日 「働くときに知っておきたいルールと権利」 参加者18名 																																					
④川西市中小企業勤労者福祉サービスセンター(パセオかわにし)	市内中小企業従業員を対象に福利厚生サービスを行う同センターに補助金を支給した。コロナ禍の影響からレクリエーション事業の利用が減少した。なお、同センターは令和4年度末で福利厚生サービスの終了を予定している。																																					

<細事業2>	勤労者住宅資金融資あっせん事業	細事業事業費（千円）	1,080	
(1) 参画と協働の主な手法（実績）				
(2) R3年度を取組と成果				
主 な 取 組	①勤労者住宅資金融資あっせん制度(預託金)…1,080千円			
①勤労者住宅資金融資あっせん制度 昭和53年に勤労者の持家促進を支援するための住宅融資をあっせん制度として発足し、平成15年に新規貸付を終了した。現在は返済及び残高に応じた預託のみを行っている。				
(実績)勤労者住宅融資あっせん制度貸与残高 (単位：円)				
貸付年度	件数	R2年度末残高	件数	R3年度末残高
H9	3	1,127,950	1	74,644
H12	2	4,274,269	2	3,371,651
合計	5	5,402,219	3	3,446,295
※取扱い金融機関に対して、令和2年度末の貸付残高の1/5である1,080千円の預託を実施。				

5. 担当部長によるR3年度事業成果の自己評価及び後期基本計画の総括を含めた今後の方向性

R3年度事業成果の自己評価		左記（自己評価）の具体的説明	
	有効性	効率性	<ul style="list-style-type: none"> キャリアカウンセリング、労働相談の利用件数が減少傾向にある。また、事前予約の運用方法を見直し、経費の合理化ができた。 若年者就労体験支援事業は、コロナ禍でも受入可能な事業所の開拓や体験方法や期間の変更を行い体験者数が増加したが、就職決定率は低下した。 キャリアデザインセミナーは、男女共同参画センターと共催することでテーマの選択やPRの一本化ができ、参加者数の増加につながった。
大きく向上した。			
向上した。			
前年度の水準に留まった。	○	○	
前年度の水準を下回った。			
事業の課題		後期基本計画期間を振り返った上での令和4年度以降の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> 新規求職者数が増加しているものの、キャリアカウンセリングの利用者数が減少しているため、ハローワークと連携し求職者への周知を強化する。 若年者就労体験事業では、就職決定率が減少している。体験者の状況に応じた支援の向上と対象年齢の引き上げを検討する必要がある。 キャリアデザインセミナーを男女共同参画センターと共催し、市民にウィズコロナ時代にあった多様な働き方の提案を進める。 		<p>【後期基本計画を振り返っての総括】</p> <p>働き方改革の推進やコロナ禍により、働き方が大きく変容している。また、就職氷河期世代への支援やテレワークの推進、副業などの大きなテーマが惹起している。これらの時流に対応した相談事業やセミナーを開催し課題解決を図った。</p> <p>【令和4年度以降の方向性】</p> <p>キャリアカウンセリングやセミナーのオンライン対応を図り、より受講しやすい環境作りを進め、生活状況やスキルの内容・レベルに応じた多様な働き方を提案し、最適な働き方の選択を支援する。</p>	

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	観光推進事業			決算書頁	250
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう				
施策	15 観光資源を発掘・開発・PRし、知名度を高めます				
所管部・課	市民環境部 文化・観光・スポーツ課	作成者	課長 稲治 惟也		

2. 事業の目的

本市の歴史や芸術・文化の発信により観光を振興する

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		R3年度	R2年度	比較	財源		R3年度	R2年度	比較
内 人 件 費 減 価 償 却 費	総事業費	37,202	13,350	23,852	一般財源		23,452	12,450	11,002
	事業費	18,252	2,517	15,735	国県支出金		1,750		1,750
	正・再任用職員	16,294	8,215	8,079	地方債		12,000		12,000
	在籍付職員・会計主任任用職員	1,470	1,432	38	特定財源(その他)		0	900	△ 900
	減価償却費	1,186	1,186						
(参考) 正・再任用職員数(人)	正職員	2	1	1					
	再任用職員								

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	観光推進事業	細事業事業費(千円)	2,022				
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等との共催・連携	団体等への補助					
(2) R3年度の取組と成果							
主な取組	<p>①川西市観光協会への運営支援(補助金)…450千円</p> <p>②加盟協会負担金及び行事開催負担金にかかる支援(ひょうご北摂里山ライド含む)…1,136千円</p> <p>③きんたくんの活用維持にかかる費用…165千円</p>						
①川西市観光協会	<p>・観光協会の活動を通じて、観光の推進を図るため、川西市観光協会へ補助金を交付した。会員数:91名</p> <p>【活動内容】川西能勢口駅前マップのリニューアル(計4枚)、観光プリンセス派遣(北摂魅力いっぱいフェア)、歴史雑誌「歴史道」に清和源氏の特集を掲載。</p>						
②加盟協会負担金等	<p>・加盟協会等(兵庫県阪神北地域ツーリズム振興協議会・公益社団法人ひょうご観光本部・北摂里山博物館運営協議会・猪名川上流の地域資源を活用するネットワーク、ひょうご北摂里山ライド実行委員会)の活動を通じて、地域資源の活用や観光振興を図った。</p>						
③「きんたくん」の活用	<p>・地域での各種イベントにおいて、川西市の元気いっぱいキャラクター「きんたくん」を活用し、市への愛着やイメージの向上を図った。令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベントの中止が多く、着ぐるみの貸出件数は微増に留まった。</p>						
④ひょうご北摂里山ライドの開催(令和3年10月10日)【初開催】	<p>・阪神北県民局をはじめ周辺自治体等と連携し開催。知明湖キャンプ場を発着点として総勢300名が参加。</p>						
きんたくんの着ぐるみ貸し出し件数							
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
市内イベント	116	94	116	67	73	13	18
市外イベント	9	10	7	13	10	1	2
合計	125	104	123	80	83	14	20

<細事業2>	黒川まちづくり支援事業	細事業事業費（千円）	16,230
(1) 参画と協働の主な手法（実績）	団体等との共催・連携	住民説明・情報発信	
(2) R3年度を取組と成果			
主 な 取 組	①黒川まちづくりの支援として、担い手の発掘や地域活性化に係るワークショップ等を実施…300千円 ②川西市黒川里山センター新築工事に伴う実施設計業務委託…12,000千円		
①黒川まちづくりの支援として、担い手の発掘や地域活性化に係るワークショップ等を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・川西黒川ミライ会議「クロカワッツ」の開催支援 <p>令和2年度まで地域活性化を目的に実施していた「井筒塾」を、黒川でどのような創造や遊びを展開できるのかをみんなで考える場とするため、名称を「クロカワッツ」に改称。</p> <p>令和3年度は、より黒川の課題解決や新たな展開の発掘に重点を置き、黒川の関係人口の増加を期待するとともに、地域住民及び新たな担い手がセンターを拠点とした国崎地域、黒川地域の活性化に向けた課題解決に取り組むことをテーマに開催。</p> <p>（3回開催、延べ51人参加、内容：里山で活動する人を外部講師として招聘し講演及び意見交換）</p> ・黒川地区の規制緩和 <p>黒川を中心としたまちづくり方針を基に、黒川地区の活性化に資する飲食店、物販店等の立地を可能とするため、土地の規制緩和を実施し、令和3年度は4件を認定。（令和2年度～累計7件）</p> ・川西市知明湖キャンプ場を利用した冬季キャンプの実施 <p>川西市黒川地区地域資源活用事業として、(株)トリムパークの提案により、川西市知明湖キャンプ場で冬季キャンプを実施した。（期間11/26～3/13、利用者：3,200人、1,750組）</p> 			
②川西市黒川里山センター新築工事に伴う実施設計 <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の避難所機能を有した川西市黒川里山センター新築棟の実施設計業務を実施。 ・川西市黒川里山センターの開設に向けて設置及び管理に関する条例を制定。 			

5. 担当部長によるR3年度事業成果の自己評価及び後期基本計画の総括を含めた今後の方向性

R3年度事業成果の自己評価		左記（自己評価）の具体的説明
	有効性 効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により観光振興に関する活動が停滞したが、市観光協会と連携しながら雑誌への掲載や観光マップの製作を行った。 ・黒川を中心としたまちづくり方針に基づき土地利用の規制緩和を行い、令和3年度中は4件を認定した。（令和2年度～累計7件） ・川西市黒川里山センターの実施設計業務を実施し、開設に向けて事業を進めることができた。
大きく向上した。		
向上した。	○	
前年度の水準に留まった。		
前年度の水準を下回った。	○	
事業の課題		後期基本計画期間を振り返った上での令和4年度以降の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・「清和源氏発祥の地」である本市の認知度向上に向け、今後も観光資源のPRに取り組む必要がある。 ・川西市黒川里山センターの指定管理者選定を行い、地域住民や新たな担い手が活動しやすい運営を指定管理者とともに考える必要がある。 		【後期基本計画を振り返ったの総括】 計画期間の途中から、新型コロナウイルス感染症の影響により観光振興に関する活動が停滞し、観光資源のPRが充分に出来なかった。 【令和4年度以降の方向性】 本市の歴史や文化、自然、イベントなどの観光資源をさまざまなPR媒体を活用しながら効果的に発信する。また、川西市黒川里山センターの令和5年度中の運用開始に向けて整備を進めていく。

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	イベント支援事業			決算書頁	252
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう				
施策	15 観光資源を発掘・開発・PRし、知名度を高めます				
所管部・課	市民環境部 文化・観光・スポーツ課	作成者	課長 稲治 惟也		

2. 事業の目的

歴史的・文化的資源を活用し、「川西」を広くPRする。

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		R3年度	R2年度	比較	財源		R3年度	R2年度	比較
内 人 件 費 減 価 償 却 費	総事業費	16,801	17,222	△ 421	一般財源	16,799	17,220	△ 421	
	事業費	507	792	△ 285	国県支出金				
	正・再任用職員	16,294	16,430	△ 136	地方債				
	在職付職員・会計年度任用職員				特定財源(その他)	2	2		
(参考) 正・再任用職員数(人)	2	2							

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	清和源氏まつり	細事業事業費(千円)																		
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等との共催・連携																			
(2) R3年度の取組と成果	<p>【戦略4】清和源氏まつり実行委員会及び川西市観光協会共催の清和源氏まつり開催支援</p> <p>【戦略4】『清和源氏発祥の地 川西』を市内外へ更にPRするため、名称を「川西市源氏まつり」から「清和源氏まつり」へと改称。</p> <p>清和源氏まつり実行委員会及び市観光協会と共催で4月11日に開催する予定であったが、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止し、令和4度開催に向けた検討を行った。</p> <p>【清和源氏まつりの観覧者数の推移】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>29年度 (第53回)</th> <th>30年度 (第54回)</th> <th>R元年度 (第55回)</th> <th>2年度 (第56回)</th> <th>3年度 (第57回)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催日</td> <td>4月9日(日)</td> <td>4月8日(日)</td> <td>4月14日(日)</td> <td>4月12日(日)</td> <td>4月11日(日)</td> </tr> <tr> <td>観覧者数</td> <td>32,000人</td> <td>32,000人</td> <td>24,000人</td> <td>中止</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table>			29年度 (第53回)	30年度 (第54回)	R元年度 (第55回)	2年度 (第56回)	3年度 (第57回)	開催日	4月9日(日)	4月8日(日)	4月14日(日)	4月12日(日)	4月11日(日)	観覧者数	32,000人	32,000人	24,000人	中止	中止
	29年度 (第53回)	30年度 (第54回)	R元年度 (第55回)	2年度 (第56回)	3年度 (第57回)															
開催日	4月9日(日)	4月8日(日)	4月14日(日)	4月12日(日)	4月11日(日)															
観覧者数	32,000人	32,000人	24,000人	中止	中止															

<細事業2>	川西おもしろ能	細事業事業費（千円）	507																		
(1) 参画と協働の主な手法（実績）	団体等との共催・連携	団体等への補助																			
(2) R3年度の取組と成果																					
主な取組	①川西おもしろ能実行委員会主催の川西おもしろ能開催支援（補助金）…500千円																				
<p>川西おもしろ能は伝統芸能である新能の鑑賞の機会を提供するとともに、芸術文化の創造と振興に寄与することを目的に、例年けやき坂中央公園内の芸術作品「おもしろ座石舞台」で開催。</p> <p>川西おもしろ能実行委員会及び市が主催で開催予定であったが、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。第30回の節目として、第30回開催の様子を撮影した記録映像を作成予定であったが、中止になったため、現在までの資料映像や関係者インタビューをまとめた記録映像を作成。</p> <p>また、今後の事業継続について、担い手不足等の問題から実行委員会で検討を重ねた結果、現行の実行委員会形式での事業廃止を決定した。</p> <p>【川西おもしろ能の観覧者数の推移】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>29年度 (第26回)</th> <th>30年度 (第27回)</th> <th>R元年度 (第28回)</th> <th>2年度 (第29回)</th> <th>3年度 (第30回)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催日</td> <td>10月7日(土)</td> <td>台風のため 中止</td> <td>10月5日(土)</td> <td>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</td> <td>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</td> </tr> <tr> <td>観覧者数</td> <td>395人</td> <td></td> <td>448人</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					29年度 (第26回)	30年度 (第27回)	R元年度 (第28回)	2年度 (第29回)	3年度 (第30回)	開催日	10月7日(土)	台風のため 中止	10月5日(土)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	観覧者数	395人		448人		
	29年度 (第26回)	30年度 (第27回)	R元年度 (第28回)	2年度 (第29回)	3年度 (第30回)																
開催日	10月7日(土)	台風のため 中止	10月5日(土)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止																
観覧者数	395人		448人																		

5. 担当部長によるR3年度事業成果の自己評価及び後期基本計画の総括を含めた今後の方向性

R3年度事業成果の自己評価		左記（自己評価）の具体的説明
	有効性 効率性	<ul style="list-style-type: none"> 清和源氏まつりは、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止したが、会場を多田神社周辺から川西能勢口周辺に移し、令和4年度開催に向けて検討を行った。 川西おもしろ能についても、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止。そして、担い手の問題等から事業廃止を決定したが、これまでの内容を記録映像として作成することで保存を行った。
大きく向上した。		
向上した。		
前年度の水準に留まった。	○ ○	
前年度の水準を下回った。		
事業の課題		後期基本計画期間を振り返った上での令和4年度以降の方向性
<ul style="list-style-type: none"> 清和源氏まつりは、本市が清和源氏発祥の地であることをPRする重要なイベントであるため、市民が参加できるような取り組みなど、より魅力的なイベントにするための検討が必要である。 川西おもしろ能については、実行委員会形式での事業を廃止したものの、周年事業などの機会に実施できないか検討する必要がある。 		<p>【後期基本計画を振り返ったの総括】</p> <p>計画期間中、清和源氏まつりは新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった時期もあったが、更なるPRと市の認知度を向上させるための検討を十分に行うことができた。</p> <p>【令和4年度以降の方向性】</p> <p>清和源氏まつりは、名称を改称し、会場を川西能勢口周辺へ移すことで、清和源氏発祥の地をPRし、より市民に親しまれるイベントとして開催する。川西おもしろ能は、周年事業などの機会に実施できないか検討を行う。</p>

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	知明湖キャンプ場管理運営事業	決算書頁	252
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう		
施策	15 観光資源を発掘・開発・PRし、知名度を高めます		
所管部・課	市民環境部 文化・観光・スポーツ課	作成者	課長 稲治 惟也

2. 事業の目的

野外における活動を通じて、健全な心身を養うとともに、観光の推進に資する

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	R3年度	R2年度	比較	財源	R3年度	R2年度	比較
総事業費	9,070	8,165	905	一般財源	9,070	8,165	905
事業費	8,590	7,685	905	国県支出金			
内訳				地方債			
人件費				特定財源(その他)			
正・再任用職員							
在職期間・会計年度任用職員							
減価償却費	480	480					
(参考) 正・再任用職員数(人)							

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	知明湖キャンプ場管理運営事業	細事業事業費(千円)	8,590																														
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等への補助																																
(2) R3年度の取組と成果	<p>①知明湖キャンプ場の管理・運営(指定管理者への管理委託料)… 7,769千円</p> <p>指定管理者による知明湖キャンプ場の管理・運営 令和3年度指定管理料: 7,769,170円 (新型コロナウイルス感染症対策に伴う損失補填931,170円含む) (令和3度利用料金収入: 7,339,070円) ※利用料金は指定管理者の収入</p> <p>○知明湖キャンプ場利用者数 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>川西市</td> <td>5,751</td> <td>4,189</td> <td>5,307</td> <td>2,443</td> <td>3,434</td> </tr> <tr> <td>川西市以外</td> <td>10,641</td> <td>9,425</td> <td>11,012</td> <td>8,829</td> <td>12,885</td> </tr> <tr> <td>全額免除</td> <td>1,282</td> <td>1,163</td> <td>1,175</td> <td>380</td> <td>585</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>17,674</td> <td>14,777</td> <td>17,494</td> <td>11,652</td> <td>16,904</td> </tr> </tbody> </table> <p>※全額免除は、市、市教育委員会が主催・共催する公的事業開催のための使用、障がい者及び介助者が使用する際などが対象。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年をはじめ市民がより身近に自然体験活動・野外活動を実施する機会を提供した。 ・使用期間: 平成3年4月1日～令和3年11月23日、令和4年3月19日～31日 ・休業日: 火曜日 ※火曜日が祝日の場合は、翌日休業 ※4月25日～5月6日及び7月18日～8月31日の期間中は無休 ・使用時間: 日帰り/午前9時～午後5時 宿泊/初日の午後2時～午後4時までに入場、最終日の午後1時までに退場 				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	川西市	5,751	4,189	5,307	2,443	3,434	川西市以外	10,641	9,425	11,012	8,829	12,885	全額免除	1,282	1,163	1,175	380	585	合計	17,674	14,777	17,494	11,652	16,904
	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度																												
川西市	5,751	4,189	5,307	2,443	3,434																												
川西市以外	10,641	9,425	11,012	8,829	12,885																												
全額免除	1,282	1,163	1,175	380	585																												
合計	17,674	14,777	17,494	11,652	16,904																												

※緊急事態宣言発令期間中は閉鎖（4月25日～5月11日まで）

- ・川西市知明湖キャンプ場を利用した冬季キャンプの実施
川西市黒川地区地域資源活用事業として、(株)トリムパークの提案により、川西市知明湖キャンプ場で冬季キャンプを実施した。（期間11/26～3/13、利用者：3,200人、1,750組）

<主な自主事業>

- ・「春の山ざらい2021」（新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止）
- ・「春里2021・さくらまつり」（新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止）
- ・「鮎のつかみどり」（新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止）



モビホの様子

5. 担当部長によるR3年度事業成果の自己評価及び後期基本計画の総括を含めた今後の方向性

R3年度事業成果の自己評価			左記（自己評価）の具体的説明
	有効性	効率性	
大きく向上した。			<ul style="list-style-type: none"> ・近年のキャンプ需要やコロナ禍における自然志向が追い風となり、当施設の利用者数は増加傾向となった。 ・キャンピングカーモビホの試験的導入（令和2年度～）のほか、他事業者による冬季閉鎖中の暫定利用（令和元年度～）など、利用者のニーズに応じた新たな取り組みを行った。 ・全国的なWEB予約システムを導入し、予約の効率化を図るとともに、同キャンプ場のPRに努める。
向上した。	○	○	
前年度の水準に留まった。			
前年度の水準を下回った。			
事業の課題			後期基本計画期間を振り返った上での令和4年度以降の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 冬季閉鎖期間における冬キャンプなど利用者ニーズの高まりへの対応が必要となっている。 ・ 場内の施設が老朽化しており、修繕等の対策が必要となっている。 			<p>【後期基本計画を振り返っての総括】</p> <p>利用者のニーズに対応した運営を行うため、試行的に冬季のキャンプ場の利用に取り組むとともに、1年間を通して楽しめる環境を整えるとともに、収益構造を向上させるため、利用料金の改定を行った。</p> <p>【令和4年度以降の方向性】</p> <p>令和5年度からの新たな指定管理者の選定に合わせて、通年利用を導入する。また、利用者のニーズに合ったキャンプ場運営について、指定管理者と協議しながら進める。</p>

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	知明湖活用推進事業		決算書頁	254
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう			
施策	15 観光資源を発掘・開発・PRし、知名度を高めます			
所管部・課	土木部 公園緑地課	作成者	課長 足立 拓也	

2. 事業の目的

知明湖周辺の各施設の維持管理を通じて一庫ダム湖周辺の自然環境を保持する

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		R3年度	R2年度	比較	財源		R3年度	R2年度	比較
内 人 件 費 減 価 償 却 費	総事業費	17,270	17,370	△ 100	一般財源		17,270	17,370	△ 100
	事業費	9,123	9,155	△ 32	国県支出金				
	正・再任用職員	8,147	8,215	△ 68	地方債				
	在職付・会計年度任用職員				特定財源(その他)				
(参考) 正・再任用職員数(人)	再任用職員	1	1						

4. 事業目的達成のための手段と成果

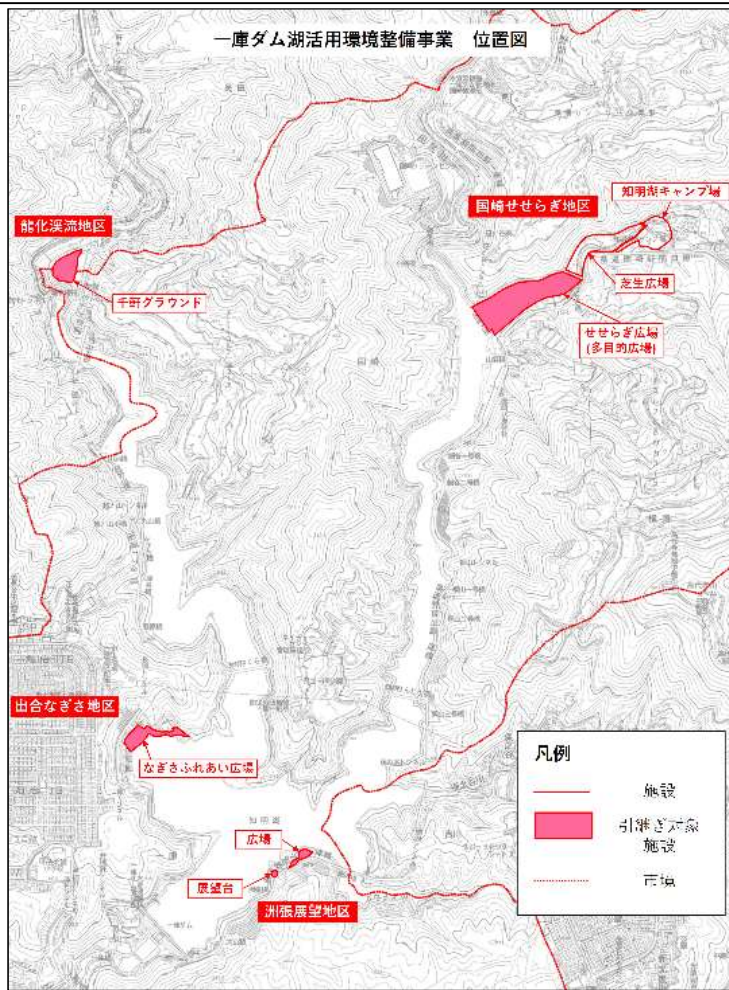
<細事業 1>	知明湖周辺施設維持管理事業	細事業事業費(千円)	9,123
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等への補助	団体等への委託	
(2) R3年度の取組と成果	<p>主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ①国崎せせらぎ・龍化溪流・出合なぎさ地区 維持管理(業務委託料)…3,825千円 ②維持管理業務にかかる事務局運営(業務委託料)…5,294千円 		
<p>国の一庫ダム湖活用環境整備事業により整備された国崎せせらぎ地区、龍化溪流地区、出合なぎさ地区などの施設を市が維持管理、除草、ごみ収集をしている。</p> <p>それらの施設の維持管理と環境の保全を継続して実施することで、ダム湖周辺を訪れた人々に本市の恵まれた自然環境を感じてもらうことができた。</p>	<p>【成果内容】</p> <p>【国崎せせらぎ・龍化溪流・出合なぎさ地区】 巡回清掃(ごみ回収)作業</p> <p>【国崎せせらぎ地区】 除草作業</p>	<p>着手前</p>  <p>着手後</p>  <p>着手前</p>  <p>着手後</p> 	

【成果内容】

【出合なぎさ地区】

設備点検作業

点検中



5. 担当部長によるR3年度事業成果の自己評価及び後期基本計画の総括を含めた今後の方向性

<p>R3年度事業成果の自己評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>有効性</th> <th>効率性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		有効性	効率性	大きく向上した。			向上した。			前年度の水準に留まった。	○	○	前年度の水準を下回った。			<p>左記（自己評価）の具体的説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の日常管理を行い、一庫ダム湖を訪れた人々に安全快適に自然環境を感じてもらうことができた。
	有効性	効率性														
大きく向上した。																
向上した。																
前年度の水準に留まった。	○	○														
前年度の水準を下回った。																
<p>事業の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 国から当該施設の市への引継ぎが求められており、観光資源としての施設のあり方について、一庫ダム周辺的环境保全や黒川地区のまちづくりと連携し、総合的に判断していく必要がある。 	<p>後期基本計画期間を振り返った上での令和4年度以降の方向性</p> <p>【後期基本計画を振り返っての総括】 施設の維持管理と環境の保全に努めてきた。今後、施設の利活用の検討や費用対効果を精査し、引継ぎを進めていく。</p> <p>【令和4年度以降の方向性】 国崎せせらぎ広場について、キャンプ場の一体利用や観光資源としての施設の価値を見定めたうえで、国、水資源機構と引継ぎの協議を進めていく。</p>															

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	ダリア育成事業	決算書頁	256
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう		
施策	15 観光資源を発掘・開発・PRし、知名度を高めます		
所管部・課	土木部 公園緑地課	作成者	課長 足立 拓也

2. 事業の目的

ダリアを育成し黒川ダリア園の知名度を高めることにより、地域のにぎわいを増やす

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	R3年度	R2年度	比較	財源	R3年度	R2年度	比較
総事業費	14,537	14,605	△ 68	一般財源	14,537	14,605	△ 68
事業費	6,390	6,390		国県支出金			
内訳				地方債			
人件費	8,147	8,215	△ 68	特定財源(その他)			
正・再任用職員							
在職付・会計年度任用職員							
減価償却費							
(参考) 正・再任用職員数(人)	1	1					
再任用職員							

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	ダリア育成事業	細事業事業費(千円)	6,390														
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等への補助																
(2) R3年度の取組と成果																	
主な取組	①ダリア育成事業の運営補助(補助金)…6,390千円																
【成果内容】	<p>黒川地域で活動する団体「黒成会」に補助し、黒川ダリア園を令和3年9月16日から11月3日まで開放した。開園期間中の入園者数は11,692人で、入園者には黒川ダリア園で採取した種子と育て方ガイドブックを配布し、ダリア育成の普及に努めた。</p> <p>(実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>黒川ダリア園入園者数(人)</td> <td>10,505</td> <td>7,222</td> <td>10,221</td> <td>11,407</td> <td>13,268</td> <td>11,692</td> </tr> </tbody> </table> <p>・開園は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため次の対策を行いながら実施した。</p> <p>(対策) ①入口で入園者の検温 ②手指消毒液を園内各所に配置 ③トイレ内消毒清掃1日2回(午前・午後) ④マスク着用の啓発とマスクの無料配布 ⑤手洗いの啓発看板の設置 ⑥スタッフへの注意喚起</p>				H28	H29	H30	R1	R2	R3	黒川ダリア園入園者数(人)	10,505	7,222	10,221	11,407	13,268	11,692
	H28	H29	H30	R1	R2	R3											
黒川ダリア園入園者数(人)	10,505	7,222	10,221	11,407	13,268	11,692											
																	

ダリア育成事業

開園中の様子



「黒成会」作業中の様子



5. 担当部長によるR3年度事業成果の自己評価及び後期基本計画の総括を含めた今後の方向性

R3年度事業成果の自己評価			左記（自己評価）の具体的説明
	有効性	効率性	<ul style="list-style-type: none"> 昨年同様、入園者の新型コロナウイルス感染症対策を十分に実施しながら開園し、大きな混乱もなく多くの方に足を運んでいただいた。
大きく向上した。			
向上した。			
前年度の水準に留まった。	○	○	
前年度の水準を下回った。			
事業の課題			後期基本計画期間を振り返った上での令和4年度以降の方向性
<ul style="list-style-type: none"> これまで地域住民と協議を行い、R4年度をもって補助金を終了することに同意を得ている。補助金終了後のダリア園のあり方について、地域団体と協議を続ける必要がある。 			<p>【後期基本計画を振り返っての総括】</p> <p>ダリア園は、地域住民がダリアの育成を通して協力し、例年多くの方が来園する「にぎわい」の場としての役割を担ってきた。一方で、地域団体の担い手の高齢化などによる活動の継続が困難となることが明らかになった。</p> <p>【令和4年度以降の方向性】</p> <p>R4年度をもって補助金を終了する。一方で、これまでの歴史的経過を踏まえて、どのように「ダリア」を未来へ引き継いでいくかを模索していく。</p>

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	文化振興事業			決算書頁	114
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう				
施策	16 文化・スポーツを通して、市民が輝く環境づくりを進めます				
所管部・課	市民環境部	文化・観光・スポーツ課	作成者	課長	稲治 惟也

2. 事業の目的

芸術文化の振興及び市民の芸術文化活動を支援する

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		R3年度	R2年度	比較	財源		R3年度	R2年度	比較
内訳	総事業費	125,003	128,690	△ 3,687	一般財源		113,496	111,061	2,435
	事業費	106,488	110,104	△ 3,616	国県支出金		8,437	12,523	△ 4,086
	人件費	16,294	16,430	△ 136	地方債				
	賃借料・会議費	1,440	1,375	65	特定財源(その他)		3,070	5,106	△ 2,036
	減価償却費	781	781						
(参考) 正・再任用職員数(人)	正職員	2	2						
	再任用職員								

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	文化振興事業	細事業事業費(千円)	12,819																																				
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等への補助																																						
(2) R3年度の取組と成果	<p>① 川西市文化協会への補助金・・・691千円 ② 川西市吹奏楽団への補助金・・・464千円</p> <p>③ 川西市民合唱団への補助金・・・243千円</p> <p>④ アーティスト支援事業に係る業務委託料・・・6,739千円</p> <p>地域文化向上のため、文化関連団体に対して補助金を交付した。例年、各関係団体が展示会や演奏会を開催しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業が中止となった。一方、このような状況下でも活動を続けられるよう各団体と協議しながら支援を行った。また、新型コロナウイルス感染症の影響により活動機会が減少したアーティストを支援するため、令和2年度に引き続きアーティスト支援事業を実施した。</p> <p>主な内容：ギャラリーかわにしにて4組のアーティストの展示会を開催、川西市展の入賞作品の講評及び入選作品の動画を配信、みつなかホール自主事業のみつなかオペラ及びかわにし能を動画配信</p>																																						
<細事業2>	文化・スポーツ振興財団支援事業	細事業事業費(千円)	87,553																																				
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等への補助																																						
(2) R3年度の取組と成果	<p>① (公財)川西市文化・スポーツ振興財団への補助金・・・87,553千円</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業もあるが、公演した事業の集客率は令和2年度よりも向上した。</p> <p>【自主事業集客率】 (単位:%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芸術文化鑑賞事業</td> <td>65.9</td> <td>65.1</td> <td>62.2</td> <td>42.2</td> <td>54.6</td> </tr> <tr> <td>育成及び援助事業</td> <td>69.8</td> <td>71.8</td> <td>72.5</td> <td>50.5</td> <td>59.6</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>67.6</td> <td>68.6</td> <td>66.4</td> <td>45.4</td> <td>56.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(入場者数/定員)</p> <p>【自己財源率】 (単位:%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自己財源率</td> <td>30.3</td> <td>35.8</td> <td>29.9</td> <td>17.2</td> <td>23.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(事業収入額/総事業費額)</p> <p>【主な自主事業】</p> <p>第30回みつなかオペラ『モーツァルト/歌劇「ドン・ジョヴァンニ」』</p> <p>みつなかオペラ実行委員会と共同で地域住民の文化振興、情報発信を目的として開催した。入場者数：612名(2日間合計)</p>			項目	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	芸術文化鑑賞事業	65.9	65.1	62.2	42.2	54.6	育成及び援助事業	69.8	71.8	72.5	50.5	59.6	全体	67.6	68.6	66.4	45.4	56.7	項目	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	自己財源率	30.3	35.8	29.9	17.2	23.2
項目	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度																																		
芸術文化鑑賞事業	65.9	65.1	62.2	42.2	54.6																																		
育成及び援助事業	69.8	71.8	72.5	50.5	59.6																																		
全体	67.6	68.6	66.4	45.4	56.7																																		
項目	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度																																		
自己財源率	30.3	35.8	29.9	17.2	23.2																																		

<細事業3>	ギャラリーかわにし運営事業	細事業事業費(千円)	4,547					
(1) 参画と協働の主な手法(実績)								
(2) R3年度の取組と成果								
主な取組	① ギャラリーかわにし清掃業務および夜間警備業務委託料・・・398千円 ② 共益費および光熱水費負担金・・・2,014千円							
芸術活動の発表の場を提供し、多くの市民や地域住民に優れた作品を鑑賞する機会を提供した。 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和3年4月25日から令和3年5月11日まで貸館中止とした。								
【市内外利用者数】	元年度	2年度	3年度					
市内利用者件数	69	20	31					
市外利用者件数	3	2	2					
合計	72	22	33					
【年間利用率】	(利用件数/年間利用可能枠数)							
	元年度	2年度	3年度					
年間利用可能枠数	90	80	94					
利用件数	72	22	33					
利用率(%)	80	28	35					
(注) 年間利用枠数については、新型コロナウイルス感染症対策による貸館中止期間を除く。								
<細事業4>	川西市展の実施	細事業事業費(千円)	1,569					
(1) 参画と協働の主な手法(実績)								
(2) R3年度の取組と成果								
主な取組	① 入選作品先行審査に係る審査員への報酬等報償費・・・1,020千円 ② 市展開催に係る準備及び受付作業等の業務委託・・・355千円							
洋画・日本画・書・彫刻(立体造形)・工芸・写真・現代美術の7部門を設定し作品を募集した。 展示は5日間(2月1日～5日)で行われた。 期間中の入場者数は995人で出品点数は全252点であった。 出展料は、1部門につき一般1,500円 学生(大学・高校・高等専門学校生)500円 (対象:満年齢16歳以上)								
(出品点数)								
	洋画	日本画	書	彫刻	工芸	写真	現代美術	合計
元年度	66	12	15	9	17	137	15	271
2年度	66	17	16	10	14	110	15	248
3年度	70	16	18	11	17	103	17	252

5. 担当部長によるR3年度事業成果の自己評価及び後期基本計画の総括を含めた今後の方向性

R3年度事業成果の自己評価	左記(自己評価)の具体的説明															
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>有効性</td> <td>効率性</td> </tr> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		有効性	効率性	大きく向上した。			向上した。	○		前年度の水準に留まった。		○	前年度の水準を下回った。			<ul style="list-style-type: none"> アーティスト支援事業については、コロナ禍による市民の芸術文化活動が停滞する中、活動を続ける市ゆかりのアーティストを対象に表現場所などを提供した。 ギャラリーかわにしについては、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、施設利用制限の緩和に伴い利用者数は微増傾向にある。 川西市展では、出品点数は令和2年度より微増した。また、入賞作品の講評を動画配信し、感染症対策を行いながら展示作品の一般公開を再開した。
	有効性	効率性														
大きく向上した。																
向上した。	○															
前年度の水準に留まった。		○														
前年度の水準を下回った。																
事業の課題	後期基本計画期間を振り返った上での令和4年度以降の方向性															
<ul style="list-style-type: none"> 文化関連団体について、補助金見直しに伴う協議を各団体と進める必要がある。 ギャラリーかわにしについては、利用者の高齢化、固定化が進んでいることから新たな運営方法の検討が必要である。 川西市展については、出品点数向上に向けて、出品意欲を高める新たな取り組みを検討する必要がある。 	【後期基本計画を振り返ったの総括】 みつなかホールで実施される自主事業の入場者数については、最高値が平成30年度の7,835人に留まり目標値には届かなかった。今後はwithコロナの社会と共存しながら、様々なニーズに対応した幅広い事業を展開する。 【令和4年度以降の方向性】 文化関連団体と補助金のあり方について協議を進める。 川西市展の出品点数向上に向けて、出品者の付加価値となるよう、過去の入賞者による特別展示会の開催など、新たな事業展開に向けて取り組みを進める。															

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	芸術文化施設維持管理事業		決算書頁	114
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう			
施策	16 文化・スポーツを通して、市民が輝く環境づくりを進めます			
所管部・課	市民環境部 文化・観光・スポーツ課	作成者	課長 稲治 惟也	

2. 事業の目的

芸術文化施設を効果的・効率的に管理・運営する

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	R3年度	R2年度	比較	財源	R3年度	R2年度	比較
総事業費	264,446	230,289	34,157	一般財源	166,665	172,083	5,418
事業費	177,632	144,812	32,820	国県支出金	463	4,305	3,842
内訳				地方債	84,400	47,500	36,900
人件費				特定財源(その他)	12,918	6,401	6,517
正・再任用職員							
任期付・会計年度任用職員							
減価償却費	86,814	85,477	1,337				
(参考)正・再任用職員							
用職員数(人)							
再任用職員							

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	芸術文化施設維持管理事業	細事業事業費(千円)	177,632																		
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等への委託																				
(2) R3年度の取組と成果	<p>主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> みつなかホールの管理及び運営((公財)川西市文化・スポーツ振興財団への指定管理料)...87,366千円 みつなかホール天井工事に係る工事監理委託料...13,200千円 みつなかホール天井工事に係る維持管理工事費...71,599千円 <p>(公財)川西市文化・スポーツ振興財団が、みつなかホールの適正な維持管理を努めるとともに、市民が快適に使用できる環境を整えた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和3年4月25日から令和3年5月11日まで貸館中止とした。</p> <p>【施設の利用制限】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">緊急事態宣言及びまん延防止措置適用期間中</th> </tr> <tr> <th>対応</th> <th>期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸館停止</td> <td>令和3年4月25日～5月11日</td> </tr> <tr> <td>合唱等禁止行為適用</td> <td>令和3年4月22日～9月30日</td> </tr> <tr> <td>開館時間短縮</td> <td>令和3年4月22日～4月24日、5月12日～6月20日、8月20日～9月30日</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">その他期間中</th> </tr> <tr> <th>対応</th> <th>期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定員50%制限</td> <td>令和3年4月1日～9月30日</td> </tr> <tr> <td>使用料50%免除</td> <td>令和3年4月1日～6月30日</td> </tr> </tbody> </table> <p>*合唱等禁止行為について、カラオケ、詩吟、コーラス、吹奏楽、管楽器、オカリナ(飛沫感染の可能性が特に高い活動)に類するもの</p>			緊急事態宣言及びまん延防止措置適用期間中		対応	期間	貸館停止	令和3年4月25日～5月11日	合唱等禁止行為適用	令和3年4月22日～9月30日	開館時間短縮	令和3年4月22日～4月24日、5月12日～6月20日、8月20日～9月30日	その他期間中		対応	期間	定員50%制限	令和3年4月1日～9月30日	使用料50%免除	令和3年4月1日～6月30日
緊急事態宣言及びまん延防止措置適用期間中																					
対応	期間																				
貸館停止	令和3年4月25日～5月11日																				
合唱等禁止行為適用	令和3年4月22日～9月30日																				
開館時間短縮	令和3年4月22日～4月24日、5月12日～6月20日、8月20日～9月30日																				
その他期間中																					
対応	期間																				
定員50%制限	令和3年4月1日～9月30日																				
使用料50%免除	令和3年4月1日～6月30日																				

【使用料収入】 (単位:千円)

29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
25,734	24,985	17,015	6,009	12,918

※令和2年は天井工事(令和3年1月から10月施工)のため4月1日から10月31日までホール受付を中止

【指定管理料】 (単位:千円)

29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
78,562	79,585	89,768	86,950	87,366

【みつなかホール特定天井等非構造部落下防止対策工事】

内 容	
建築基準法施行令の改正に伴う、みつなかホール客席部分の天井部材落下防止工事及び工事監理業務委託	
金 額 (千円)	
工事監理委託料	13,200
維持管理工事費	71,599

【施設利用率 (%)】

施設名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
ホール	62.7	65.3	53.9	49.8	64.1
文化サロン	65.6	63.1	55.4	41.7	51.2
第1セミナー室	45.1	42.9	36.0	29.6	30.0
第2セミナー室	46.3	50.0	42.4	36.8	35.0
第1スタジオ	55.7	52.3	42.1	38.6	34.4
第2スタジオ	70.3	73.9	67.7	66.6	52.8

(利用枠数/ 利用可能枠数)

(注) 年間利用枠数については、新型コロナウイルス感染症対策による貸館中止期間を除く。

5. 担当部長によるR3年度事業成果の自己評価及び後期基本計画の総括を含めた今後の方向性

R3年度事業成果の自己評価	左記(自己評価)の具体的説明															
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>有効性</th> <th>効率性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		有効性	効率性	大きく向上した。			向上した。			前年度の水準に留まった。	○	○	前年度の水準を下回った。			<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症による施設の使用制限が解除され、利用状況は回復傾向にあり利用率は向上しているが、使用料収入は平成30年度使用料の半額程度に留まっている。 ホール天井の改修工事を行い、利用者が安全に施設を利用できる環境を整えた。
	有効性	効率性														
大きく向上した。																
向上した。																
前年度の水準に留まった。	○	○														
前年度の水準を下回った。																
<p>事業の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> みつなかホールは、建築年数が27年を経過し、施設や設備の老朽化も進んでいるため、計画的な修繕を行い適切な維持管理を行う必要がある。 施設を安心して利用いただくため、引き続き新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底して行う。 	<p>後期基本計画期間を振り返った上での令和4年度以降の方向性</p> <p>【後期基本計画を振り返ったの総括】</p> <p>利用者が安心安全に施設が利用できるよう、管理運営と維持管理を行った。新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった事業があるものの、多くの利用者に芸術文化の鑑賞機会を提供した。</p> <p>【令和4年度以降の方向性】</p> <p>引き続き新型コロナウイルス感染症の感染対策に努めながら、安心して利用できる施設環境の維持に努める。</p> <p>みつなかホールは、市公共施設等総合管理計画に基づき適正な維持管理を継続する。</p>															

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	生涯スポーツ推進事業			決算書頁	124
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう				
施策	16 文化・スポーツを通して、市民が輝く環境づくりを進めます				
所管部・課	市民環境部 文化・観光・スポーツ課	作成者	課長 稲治 惟也		

2. 事業の目的

生涯を通じてスポーツに親しめる環境づくりを進める

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	R3年度	R2年度	比較	財源	R3年度	R2年度	比較
総事業費	26,993	25,362	1,631	一般財源	26,993	25,262	1,731
事業費	6,246	4,543	1,703	国県支出金			
内訳				地方債			
人件費	16,294	16,430	△136	特定財源(その他)		100	△100
正・再任用職員							
在籍付職員・会計主任任用職員	1,316	1,252	64				
減価償却費	3,137	3,137					
(参考)正・再任用職員数(人)	2	2					

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	生涯スポーツ推進事業	細事業事業費(千円)	6,085																																										
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等との共催・連携	団体等への補助																																											
(2) R3年度の取組と成果	<p>①小学校体育施設の開放(学校開放に伴う原材料・修繕費)…351千円</p> <p>②スポーツ推進委員の活動・生涯スポーツの普及(スポーツ推進委員への報酬)…2,088千円</p> <p>③「スポーツクラブ21ひょうご」事業の推進</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により小学校体育施設が使用できない期間があり、市民のスポーツを行う機会が減少した。</p> <p>①【小学校体育施設の開放】 小学校体育施設を学校教育に支障のない範囲で校区内住民によるスポーツ団体に開放し、活動の拠点とした。 学校プール開放事業については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から令和3年度は中止とした。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>小学校体育施設開放利用者数</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校体育施設利用者(人)</td> <td>207,484</td> <td>219,080</td> <td>219,250</td> <td>168,720</td> <td>161,366</td> </tr> <tr> <td>プール開放利用者数(人)</td> <td>20,157</td> <td>7,934</td> <td>12,850</td> <td>未実施</td> <td>未実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>②【スポーツ推進委員の活動・生涯スポーツの普及】 月1回定例会の開催のほか、資質の向上のため、阪神北地区および兵庫県との研修会に参加した。 例年は年3回、スポーツ推進委員と協力し、子供から高齢者まで楽しく参加できるレクリエーションスポーツ大会を実施しているが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため全て中止となった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>レクリエーションスポーツ大会参加者数</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カローリング大会等(3回合計・人)</td> <td>303</td> <td>315</td> <td>231</td> <td>未開催</td> <td>未開催</td> </tr> </tbody> </table> <p>③【「スポーツクラブ21ひょうご」事業の推進】 小学校区ごとに組織されたスポーツクラブ21の運営を支援し、生涯スポーツの振興を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>会員数</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツクラブ21会員数(人)</td> <td>5,593</td> <td>5,573</td> <td>5,134</td> <td>4,829</td> <td>4,810</td> </tr> </tbody> </table>			小学校体育施設開放利用者数	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	学校体育施設利用者(人)	207,484	219,080	219,250	168,720	161,366	プール開放利用者数(人)	20,157	7,934	12,850	未実施	未実施	レクリエーションスポーツ大会参加者数	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	カローリング大会等(3回合計・人)	303	315	231	未開催	未開催	会員数	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	スポーツクラブ21会員数(人)	5,593	5,573	5,134	4,829	4,810
小学校体育施設開放利用者数	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度																																								
学校体育施設利用者(人)	207,484	219,080	219,250	168,720	161,366																																								
プール開放利用者数(人)	20,157	7,934	12,850	未実施	未実施																																								
レクリエーションスポーツ大会参加者数	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度																																								
カローリング大会等(3回合計・人)	303	315	231	未開催	未開催																																								
会員数	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度																																								
スポーツクラブ21会員数(人)	5,593	5,573	5,134	4,829	4,810																																								

<細事業2>	一庫ダム周遊マラソン大会開催支援事業	細事業事業費（千円）	161																														
(1) 参画と協働の主な手法（実績）	団体等との共催・連携	団体等への補助																															
(2) R3年度の取組と成果																																	
主な取組	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止																																
川西一庫ダム周遊マラソン大会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、6月に開催中止を判断し、市のホームページや広報誌等で周知した。																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>川西一庫ダム周遊マラソン大会参加者</th> <th>29年度（第36回）</th> <th>30年度（第37回）</th> <th>元年度（第38回）</th> <th>2年度（第39回）</th> <th>3年度（第40回）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催日</td> <td>11月19日（日）</td> <td>11月18日（日）</td> <td>11月17日（日）</td> <td>未開催</td> <td>未開催</td> </tr> <tr> <td>参加者数（人）</td> <td>2,640</td> <td>2,290</td> <td>2,657</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>うち川西市民数（人）</td> <td>1,106</td> <td>973</td> <td>1,008</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>川西市民の参加割合（％）</td> <td>42</td> <td>42</td> <td>38</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			川西一庫ダム周遊マラソン大会参加者	29年度（第36回）	30年度（第37回）	元年度（第38回）	2年度（第39回）	3年度（第40回）	開催日	11月19日（日）	11月18日（日）	11月17日（日）	未開催	未開催	参加者数（人）	2,640	2,290	2,657			うち川西市民数（人）	1,106	973	1,008			川西市民の参加割合（％）	42	42	38		
川西一庫ダム周遊マラソン大会参加者	29年度（第36回）	30年度（第37回）	元年度（第38回）	2年度（第39回）	3年度（第40回）																												
開催日	11月19日（日）	11月18日（日）	11月17日（日）	未開催	未開催																												
参加者数（人）	2,640	2,290	2,657																														
うち川西市民数（人）	1,106	973	1,008																														
川西市民の参加割合（％）	42	42	38																														

5. 担当部長によるR3年度事業成果の自己評価及び後期基本計画の総括を含めた今後の方向性

R3年度事業成果の自己評価		左記（自己評価）の具体的説明	
	有効性	効率性	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による、小学校体育施設開放事業の活動の制限やプール開放事業の中止により、スポーツを楽しむ機会が減少した。 スポーツクラブ21ひょうごなどが地域で企画するスポーツ大会や行事については、小学校体育施設の開放において可能な範囲で実施した。 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和2年度同様に川西一庫ダム周遊マラソン大会を中止したため、スポーツに親しむ機会が減少した。
大きく向上した。			
向上した。			
前年度の水準に留まった。	○	○	
前年度の水準を下回った。			
事業の課題		後期基本計画期間を振り返った上での令和4年度以降の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> 学校プール開放事業は、近年熱中症の危険性の高まりに加えて監視員の人員不足などの課題がある。 「スポーツクラブ21ひょうご」は、高齢化により事務局運営が困難な地域もあるため、各クラブ間での情報共有を図りつつ、県と協議しながら対応策を検討する必要がある。 川西一庫ダム周遊マラソン大会については、事業再検証により指摘のあった同大会の役割について、改めて検討する必要がある。また新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の対策が必須である。 		<p>【後期基本計画を振り返ったの総括】</p> <p>昨今の少子高齢化や新型コロナウイルス感染症による活動の制限によりスポーツクラブ21の会員数の減少が進む中、各クラブの活動の情報共有などを行い、市民のスポーツ活動への動機付けを行った。</p> <p>【令和4年度以降の方向性】</p> <p>学校プール開放事業は、今後も継続して安全に実施する方法について地域コミュニティ団体と協議していく。「スポーツクラブ21ひょうご」は、各クラブの掲げる課題案を共有し、今後も継続して実施できる方法を検討する。川西一庫ダム周遊マラソン大会は、同大会の今後のあり方について検討する。</p>	

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	競技スポーツ推進事業			決算書頁	124
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう				
施策	16 文化・スポーツを通して、市民が輝く環境づくりを進めます				
所管部・課	市民環境部	文化・観光・スポーツ課	作成者	課長 稲治 惟也	

2. 事業の目的

スポーツ団体の自主活動を支援し、団体を育成するとともに競技力を向上させる

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		R3年度	R2年度	比較	財源		R3年度	R2年度	比較
内 人 件 費 減 価 償 却 費	総事業費	11,328	11,361	△ 33	一般財源	11,328	11,361	△ 33	
	事業費	3,181	3,146	35	国県支出金				
	正・再任用職員	8,147	8,215	△ 68	地方債				
	在期待・会計年度任用職員				特定財源(その他)				
(参考) 正・再任用職員数(人)	正職員	1	1						
	再任用職員								

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	競技スポーツ推進事業	細事業事業費(千円)	3,181		
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等への補助				
(2) R3年度の取組と成果					
主な取組	①スポーツ団体への支援(補助金)…3,119千円 ②市長表敬訪問の実施				
①【スポーツ団体への支援】	市スポーツ協会や市スポーツ少年団等の自主活動を支援し、競技スポーツ団体の育成と競争力の向上を図った。 ※令和3年度から川西市体育協会は川西市スポーツ協会に名称を変更				
加盟団体数	(単位:団体)				
	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
川西市スポーツ協会	30	30	30	30	30
川西市スポーツ少年団	23	23	23	19	20
団体会員数	(単位:人)				
	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
川西市スポーツ協会	13,190	12,742	12,000	11,833	11,459
川西市スポーツ少年団	858	839	829	617	603

②【表敬訪問の実施】

市長への表敬訪問を行った個人及び団体（スポーツ競技で優秀な成績、顕著な功績があった者）に対して、市広報誌でPRすることにより、スポーツの活動の推進に努めた。

岸田ひなのさん（ウェイクボード世界大会優勝）の応援横断幕を市庁舎壁面に掲示した。

令和3年度に実施した表敬訪問

表敬訪問者	報告会名
溝口 司、柳谷 涼太	第37回K-1アマチュア K-1チャレンジ(一般)Aクラス 出場報告会
原田 渚	ハンガリー国際大会及び全国高校選手権 出場報告会
釜本 ありす	全国高校総体 出場報告会
岸本 瑛太、杉山 奏太、岸本 愛介 岸本 日向、野田 忠仁、福井 皓星 山上 歩、中村 朔太郎、大角 琢心	第21回全日本少年少女空手道選手権大会 第29回全国中学生空手道選手権大会 出場報告会
森 日我	第76回国民体育大会レスリング競技(少年の部) 出場激励会
杉山 奏太、岸本 愛介	第21回全日本少年少女空手道選手権大会 出場報告会
池田 和子	2021年全日本卓球選手権大会マスターズの部 優勝報告会
岸田 ひなの	NAUTIQUE WWA WAKEBOARD WORLD CHAMPIONSHIPS PRESENTED BY YANMAR 2021』優勝報告会
的場 幸枝	第16回全日本レディースバドミントン競技大会(個人戦) 出場報告会
川田 大樹、立蘭 瑞己 板東 晴、中畑 七海	第1回全日本少年少女空手道選抜大会 及び 第16回全国中学生空手道選抜大会 出場報告会
松本 千奈都	令和3年度東京都知事杯・第12回全国中学選抜レスリング選手権大会 出場報告会
群 輝生、宮本 卓馬、山田 理人	令和3年度東京都知事杯・第38回全国少年少女レスリング選手権大会 出場報告会
高井 七星	第25回全国高等学校少林寺拳法選抜大会 出場激励会

5. 担当部長によるR3年度事業成果の自己評価及び後期基本計画の総括を含めた今後の方向性

R3年度事業成果の自己評価	左記（自己評価）の具体的説明															
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>有効性</th> <th>効率性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		有効性	効率性	大きく向上した。			向上した。			前年度の水準に留まった。	○	○	前年度の水準を下回った。			<ul style="list-style-type: none"> 市スポーツ協会や市スポーツ少年団に対し、自主的活動の支援や、社会体育施設の使用補助を行うなど、各種スポーツ団体の活動を支援し、各団体数を前年度と同水準に留めた。 新型コロナウイルス感染症によって、昨年より引き続き活動が制限され、各団体の会員数が減少した。 市広報誌や新聞等のメディアを通じて活躍している選手を広くPRすることで、選手のモチベーション向上などにつながった。
	有効性	効率性														
大きく向上した。																
向上した。																
前年度の水準に留まった。	○	○														
前年度の水準を下回った。																
<p>事業の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症による活動の制限が緩和され人々の活動が再開される中で、活動の場の提供などの支援が必要となる。 スポーツ協会及びスポーツ少年団の会員数が経年的に減少傾向にある。 スポーツ協会及びスポーツ少年団について、補助金及び事務局機能見直しに伴い今後の支援方法について、各団体と協議を進める必要がある。 	<p>後期基本計画期間を振り返った上での令和4年度以降の方向性</p> <p>【後期基本計画を振り返っての総括】</p> <p>昨今の少子高齢化や新型コロナウイルス感染症による活動の制限により各団体の会員数の減少が進む中、競技団体の活動への支援を行うとともに、広報誌等を活用し、各種団体の活動のPRを行うことで市民のスポーツ活動への動機付けを行った。</p> <p>【令和4年度以降の方向性】</p> <p>市広報やマスコミだけでなく、デジタルサイネージ活用を検討することで、個人や団体の活躍のさらなる周知を図る。</p> <p>市民が気軽に行えるスポーツの普及により、各種団体の会員数の増加を図る。</p>															

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	スポーツ施設管理運営事業		決算書頁	124
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう			
施策	16 文化・スポーツを通して、市民が輝く環境づくりを進めます			
所管部・課	市民環境部	文化・観光・スポーツ課	作成者	課長 稲治 惟也

2. 事業の目的

社会体育施設及び東久代運動公園を適切に維持管理・運営する

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	R3年度	R2年度	比較	財源	R3年度	R2年度	比較
総事業費	504,811	582,692	△ 77,881	一般財源	407,091	383,402	23,689
事業費	426,460	509,178	△ 82,718	国県支出金	31,159	13,297	17,862
内訳				地方債	12,900	140,594	△ 127,694
正・再任用職員 在職期間・会計年度任用職員				特定財源(その他)	53,661	45,399	8,262
減価償却費	78,351	73,514	4,837				
(参考) 正・再任用職員 用職員数(人)							

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	スポーツ施設管理運営事業	細事業事業費(千円)	426,460
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等への補助		
(2) R3年度の取組と成果	<p>①社会体育施設等の維持管理・運営(指定管理料,補助金,PFI業務委託料、修繕料,設備工事費)…341,656千円</p> <p>②東谷多目的広場整備事業(給水装置工事分担金、工作物工事費)…51,621千円</p> <p>③東久代運動公園内不法占用に係る行政代執行(撤去運搬及び処分費)…3,579千円</p> <p>①【社会体育施設等の維持管理・運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会体育施設等の維持管理・運営および指定管理者への補助 <p>社会体育施設等(総合体育館・弓道場・市民温水プール・東久代運動公園)の維持管理を行い、各種スポーツ教室等を開催するための補助金を指定管理者の(公財)川西市文化・スポーツ振興財団へ交付した。市民体育館・市民運動場は、PFI事業者である川西市スポーツ・ウェルネス(株)へ維持管理・運営の事業委託を行った。</p> <p>いずれの施設も新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、4/23~9/30までの間、施設の閉鎖、利用時間の短縮等を行い、総合体育館は、4/26~3/31の間、市民体育館・市民運動場は5/24~8/11の間、ワクチン集団接種会場として使用した影響で、総合体育館の利用者は大幅に減少したが、利用団体の流動などにより市民体育館・市民運動場の利用者は増加した。</p>		
施設の利用者数	(単位:人)		
	29年度	30年度	元年度
施設名	29年度	30年度	元年度
総合体育館(弓道場含む)	199,100	193,749	179,066
市民体育館	133,889	148,061	140,879
市民運動場	59,422	63,688	62,373
市民温水プール	99,440	109,072	101,602
東久代運動公園	85,259	83,941	89,386
合計	577,110	598,511	573,306
主な施設の利用率(施設利用枠数÷施設利用可能枠数)	(単位:%)		
	29年度	30年度	元年度
施設名	29年度	30年度	元年度
総合体育館第1体育室	91.2	88.2	88.7
市民体育館主競技場	88.6	87.1	90.2
市民運動場野球場兼運動場	65.4	63.4	62.8
東久代運動公園(野球場)	31.4	40.2	36.0
市民運動場テニスコート	83.5	80.3	79.2
東久代運動公園テニスコート	19.6	19.5	20.7

・社会体育施設等の修繕料及び設備工事費

社会体育施設（主に総合体育館、市民温水プール）の適切な維持管理に努めるとともに、市民が安全で快適に使用できるように環境を整えた。

令和3年度に実施した施設の修繕・工事

(単位:円)

施設名	件名	金額
総合体育館	総合体育館アリーナ仕切りネット修繕	792,000
	総合体育館自動火災報知設備更新修繕	2,277,000
	総合体育館西側出入口扉修繕	605,000
市民温水プール	市民温水プール吸収式冷温水機溶接部分交換修繕	1,188,000
	市民温水プールヒートポンプチラー更新修繕	8,239,000
東久代運動公園	東久代運動公園入口側溝肩修繕	134,200
	東久代運動公園ガードレール修繕	672,100
総合体育館・市民温水プール・東久代運動公園・市民運動場	市民運動場西門修繕	177,100

②【東谷多目的広場整備事業】

東谷区域のグラウンド不足を解消し、地域づくりの場として、多目的広場を整備した。

東谷多目的広場に係る給水装置工事分担金	3,168,000円
東谷多目的広場整備工事（明許繰越）	48,452,600円

③【東久代運動公園内不法占用に係る行政代執行】

東久代運動公園管理事務所南側の市占用地に車両や建築資材が長年にわたり放置されていたため、行政代執行により不法占用物を撤去運搬及び処分した。

東久代運動公園内不法占用物撤去運搬及び処分業務	2,930,300円
東久代運動公園内フェンス設置工事	649,000円

5. 担当部長によるR3年度事業成果の自己評価及び後期基本計画の総括を含めた今後の方向性

R3年度事業成果の自己評価	左記（自己評価）の具体的説明															
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>有効性</th> <th>効率性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		有効性	効率性	大きく向上した。			向上した。	○		前年度の水準に留まった。		○	前年度の水準を下回った。			<ul style="list-style-type: none"> ワクチン集団接種会場として総合体育館・市民体育館等を使用した影響で利用者が減少したが、接種会場として利用することで、市のワクチン接種推進に寄与することができた。 総合体育館など老朽化に伴う修繕を計画的に実施するとともに、緊急・突発的修繕に対しても優先順位を協議しながら実施し、市民が安全に利用できる環境の維持につながった。 東谷多目的広場の整備や東久代運動公園内不法占用に係る行政代執行を行った。
	有効性	効率性														
大きく向上した。																
向上した。	○															
前年度の水準に留まった。		○														
前年度の水準を下回った。																
<p>事業の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合体育館や温水プールは建築年数が30年以上経過し老朽化が著しいため、計画外の緊急・突発的修繕が増加し、維持管理経費が増える傾向にある。 施設内での新型コロナウイルス感染症感染防止対策を引き続き行い、利用者が安心してスポーツができる環境を維持する必要がある。 東久代運動公園内不法占用に係る行政代執行について、不法占有者に対し費用の請求を行い、債権を回収する必要がある。 	<p>後期基本計画期間を振り返った上での令和4年度以降の方向性</p> <p>【後期基本計画を振り返ったの総括】</p> <p>修繕を計画的に実施することにより、修繕に伴う施設の閉館を避け、緊急・突発的修繕等についても、施設運営事業者と連携を図り、速やかに対処することで、利用者が快適に利用できる環境づくりに努めた。</p> <p>【令和4年度以降の方向性】</p> <p>施設の老朽化に伴う修繕を計画的に実施するとともに、緊急・突発的修繕等についても機動的に対応できるよう各施設運営事業者と連携して進める。また、総合体育館における空調設備の設置をはじめ、快適なスポーツ環境づくりに努める。</p>															

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	アステ市民プラザ運営事業		決算書頁	128
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう			
施策	16 文化・スポーツを通して、市民が輝く環境づくりを進めます			
所管部・課	市民環境部	アステ市民プラザ	作成者	所長 西野 登三

2. 事業の目的

文化的活動や交流の場を提供するなど市民生活の向上やにぎわいのあるまちづくりに寄与する

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト				財源			
	R3年度	R2年度	比較		R3年度	R2年度	比較
総事業費	102,863	104,378	△ 1,515	一般財源	93,393	92,935	458
事業費	40,826	42,715	△ 1,889	国県支出金		3,049	△ 3,049
内 人件費	32,588	32,860	△ 272	地方債			
件 正・再任用職員				特定財源(その他)	9,470	8,394	1,076
費 在期待・会計年度任用職員	10,524	9,878	646				
減価償却費	18,925	18,925					
(参考) 正・再任用職員数(人)	4	4					
再任用職員							

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	アステ市民プラザ運営事業	細事業事業費(千円)	40,826																																																																								
(1) 参画と協働の主な手法(実績)																																																																											
(2) R3年度の取組と成果																																																																											
主な取組	<p>①貸室業務の実施 修繕料(施設・備品)…90千円、施設予約システム関係使用料等…390千円</p> <p>②各種証明書の発行 証明書発行端末使用料・委託料…471千円、偽造防止用紙印刷代…31千円</p> <p>③施設の維持管理 業務委託料(清掃・警備等)…10,656千円、その他負担金(通常管理費等)…26,175千円</p> <p>①アステ市民プラザの適正な維持管理に努めるとともに、貸室を市民が快適に使用できるよう環境を整えた。</p>																																																																										
	<p>【施設使用料収入】 (単位:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アステ市民プラザ</td> <td>18,674,980</td> <td>19,545,490</td> <td>16,451,520</td> <td>5,825,860</td> <td>7,045,640</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施設利用率】 (単位:%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アステホール</td> <td>57.1</td> <td>55.0</td> <td>56.5</td> <td>21.5</td> <td>20.0</td> </tr> <tr> <td>マルチスペース1</td> <td>49.6</td> <td>50.5</td> <td>47.7</td> <td>19.4</td> <td>16.4</td> </tr> <tr> <td>マルチスペース2</td> <td>53.7</td> <td>54.8</td> <td>53.6</td> <td>36.6</td> <td>27.5</td> </tr> <tr> <td>ルーム1</td> <td>45.7</td> <td>46.7</td> <td>48.8</td> <td>29.0</td> <td>21.4</td> </tr> <tr> <td>ルーム2</td> <td>41.3</td> <td>42.1</td> <td>47.1</td> <td>27.8</td> <td>20.0</td> </tr> <tr> <td>ルーム3</td> <td>50.1</td> <td>53.8</td> <td>58.4</td> <td>32.4</td> <td>22.4</td> </tr> <tr> <td>ルーム4</td> <td>48.1</td> <td>49.7</td> <td>54.1</td> <td>30.6</td> <td>22.6</td> </tr> <tr> <td>子育て支援ルーム</td> <td>69.2</td> <td>68.6</td> <td>60.3</td> <td>51.6</td> <td>52.0</td> </tr> <tr> <td>平均</td> <td>51.9</td> <td>52.7</td> <td>53.3</td> <td>31.1</td> <td>25.3</td> </tr> </tbody> </table>			項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	アステ市民プラザ	18,674,980	19,545,490	16,451,520	5,825,860	7,045,640	施設名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	アステホール	57.1	55.0	56.5	21.5	20.0	マルチスペース1	49.6	50.5	47.7	19.4	16.4	マルチスペース2	53.7	54.8	53.6	36.6	27.5	ルーム1	45.7	46.7	48.8	29.0	21.4	ルーム2	41.3	42.1	47.1	27.8	20.0	ルーム3	50.1	53.8	58.4	32.4	22.4	ルーム4	48.1	49.7	54.1	30.6	22.6	子育て支援ルーム	69.2	68.6	60.3	51.6	52.0	平均	51.9	52.7	53.3	31.1	25.3
項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																																						
アステ市民プラザ	18,674,980	19,545,490	16,451,520	5,825,860	7,045,640																																																																						
施設名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度																																																																						
アステホール	57.1	55.0	56.5	21.5	20.0																																																																						
マルチスペース1	49.6	50.5	47.7	19.4	16.4																																																																						
マルチスペース2	53.7	54.8	53.6	36.6	27.5																																																																						
ルーム1	45.7	46.7	48.8	29.0	21.4																																																																						
ルーム2	41.3	42.1	47.1	27.8	20.0																																																																						
ルーム3	50.1	53.8	58.4	32.4	22.4																																																																						
ルーム4	48.1	49.7	54.1	30.6	22.6																																																																						
子育て支援ルーム	69.2	68.6	60.3	51.6	52.0																																																																						
平均	51.9	52.7	53.3	31.1	25.3																																																																						
	<p>・貸出単位:50分/区分(1日当たり13区分)</p> <p>・開館日数・時間:年末年始の6日間と緊急事態宣言下の4月25日～5月11日迄の17日間及び新型コロナワクチン接種のため貸室を中止した7月12日～9月30日迄の81日間の計98日間を除く261日(子育て支援ルームは休館日及び4月25日～5月11日を除く330日)午前9時～午後10時まで(緊急事態宣言発令の前後に貸室時間の短縮を実施、またワクチン接種による施設の一部占用あり)ワクチン接種にはアステホール等を使用。</p> <p>・施設利用率:貸出可能区分数のうち、実際に貸出を行った割合。但し、アステホールについては貸出時の設営および撤去に係る貸出できない時間区分についても除外せず、貸出がなかったものとして算出している。</p> <p>・中央図書館の自習室不足を補うために、土曜日・日曜日・祝日の空き室を活用することで、青少年の自主学习支援に協力した。(延べ開設日数:56日、利用者数:556人)</p>																																																																										

【アステギャラリー】

- ・文化芸術活動の発表の場として提供するとともに、市民が文化芸術作品に触れる機会を提供した。
- ・使用の範囲：美術に関するもの ・貸出単位：6日間／区分（水曜日～月曜日）
- ・利用時間：午前10時～午後7時まで（最終日は午後5時まで）
- ・使用料（6日間） 市内利用者 48,000円 市外利用者 64,000円

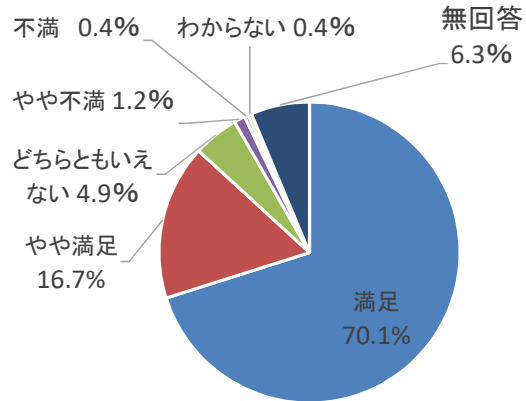
【アステギャラリー利用率】

施設名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
年間貸出可能区分数	50	50	45	43	37
貸出区分数	26	24	21	5	7
施設利用率(%)	52.0	48.0	46.7	11.6	18.9

【利用者アンケート】

- ・アステ市民プラザの利用者の利便性・満足度を高めるため、利用者アンケートを実施した。
- ・アンケートの実施期間・回答者数：令和4年2月9日～3月28日
回答者数 86人
- ・質問内容：施設（開館時間、交通アクセス、設備、清潔さ、案内表示）、サービス（利用手続、使用料、職員対応）の8項目に対する満足度

【アンケート集計結果】



- ②住民票、印鑑登録証明、課税証明等、各種証明書の正確かつ迅速な交付を行った。

【各種証明書等発行枚数】

(単位:枚)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
内訳	住民票関連	3,976	4,410	4,636	4,881	4,167	4,082
	印鑑登録証明書	2,752	2,799	2,808	2,959	2,447	2,074
	課税等証明書	1,412	1,693	1,679	1,621	1,263	1,265
	合計	8,140	8,902	9,123	9,461	7,877	7,421

5. 担当部長によるR3年度事業成果の自己評価及び後期基本計画の総括を含めた今後の方向性

R3年度事業成果の自己評価	有効性	効率性	左記（自己評価）の具体的説明
大きく向上した。			<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初の緊急事態宣言発令に加え、ワクチン接種会場としての利用を求められたため、本来の施設利用者に対して十分な環境を提供できなかった。 ・反面ワクチン接種会場としての利用は、本来の使用目的とは異なるものの市民の安心・安全を確保するという公的施設としての役割を果たした。 ・各種証明書の発行は、施設利用のできない期間中にも需要があることから、夜間・土日祝日の発行を継続することで市民の利便性を図ることができた。
向上した。	○		
前年度の水準に留まった。		○	
前年度の水準を下回った。			
事業の課題			後期基本計画期間を振り返った上での令和4年度以降の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・制限下にあっても市民からの利用希望は多いため、感染防止に留意したうえで、利用について市民の理解を得ながら進めていく必要がある。 ・アステギャラリーの使用範囲を見直したことで、新たな需要を確保する必要がある。 			<p>【後期基本計画を振り返ったの総括】</p> <p>利用率向上を目指すだけでなく、コロナウイルス感染拡大防止を念頭に安心・安全に使用できる貸室事業を維持する必要がある。</p> <p>【令和4年度以降の方向性】</p> <p>貸室の利用に際しての利用者のニーズに対応することや、利用率の低い夜間の利用を積極的にPRすることで、施設利用率の向上に努める。</p>

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	キセラ川西プラザ運営事業		決算書頁	130
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう			
施策	16 文化・スポーツを通して、市民が輝く環境づくりを進めます			
所管部・課	市民環境部	文化・観光・スポーツ課	作成者	課長 稲治 惟也

2. 事業の目的

キセラ川西プラザの効率的な管理・運営により、市民サービスの向上を図る

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	R3年度	R2年度	比較	財源	R3年度	R2年度	比較
総事業費	474,615	476,129	1,514	一般財源	402,835	425,653	22,818
事業費	339,012	340,458	1,446	国県支出金	2,213	5,119	2,906
内訳				地方債			
人件費	8,147	8,215	68	特定財源(その他)	69,567	45,357	24,210
減価償却費	127,456	127,456					
(参考)正・再任用職員	1	1					
用職員数(人)							

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	キセラ川西プラザ運営事業	細事業事業費(千円)	339,012																																																		
(1) 参画と協働の主な手法(実績)	団体等への委託																																																				
(2) R3年度の取組と成果	<p>主な取組</p> <p>PFI業者への事業委託料・・・242,826千円 (サービス購入費 内訳：施設整備費 91,663千円, 維持管理費・運営費・SPC管理費 151,163千円)</p> <p>キセラ川西プラザのPFI事業者による施設の適切な維持管理を行った。 キセラ川西プラザは、4階建の文化・福祉機能を兼ね備えた複合施設で、福祉棟は社会福祉関連施設及び川西公民館があり、文化棟はキセラホール、大会議室、多目的スタジオがあり文化活動の場として活用されている。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和3年4月25日から令和3年5月11日まで貸館中止とした。 【施設の利用制限】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">緊急事態宣言及びまん延防止措置適用期間中</th> </tr> <tr> <th>対応</th> <th>期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸館停止</td> <td>令和3年4月25日～5月11日</td> </tr> <tr> <td>合唱等禁止行為適用</td> <td>令和3年4月22日～9月30日</td> </tr> <tr> <td>開館時間短縮</td> <td>令和3年4月22日～4月24日、5月12日～6月20日、8月20日～9月30日</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">その他期間中</th> </tr> <tr> <th>対応</th> <th>期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定員50%制限</td> <td>令和3年4月1日～9月30日</td> </tr> <tr> <td>使用料50%免除</td> <td>令和3年4月1日～6月30日</td> </tr> </tbody> </table> <p>*合唱等禁止行為について、カラオケ、詩吟、コーラス、吹奏楽、管楽器、オカリナ(飛沫感染の可能性が特に高い活動)に類するもの</p> <p>【施設利用率(%)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホール</td> <td>45.9</td> <td>42.3</td> <td>53.3</td> </tr> <tr> <td>大会議室</td> <td>47.6</td> <td>42.8</td> <td>48.4</td> </tr> <tr> <td>スタジオA</td> <td>65.2</td> <td>57.3</td> <td>76.0</td> </tr> <tr> <td>スタジオB</td> <td>55.7</td> <td>52.9</td> <td>74.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(利用枠数/利用可能枠数) (注)年間利用枠数については、新型コロナウイルス感染症対策による貸館中止期間を除く。</p> <p>【使用料収入】(単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18,571</td> <td>11,817</td> <td>21,542</td> </tr> </tbody> </table> <p>【駐車場収入】(単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15,385</td> <td>12,520</td> <td>27,158</td> </tr> </tbody> </table>			緊急事態宣言及びまん延防止措置適用期間中		対応	期間	貸館停止	令和3年4月25日～5月11日	合唱等禁止行為適用	令和3年4月22日～9月30日	開館時間短縮	令和3年4月22日～4月24日、5月12日～6月20日、8月20日～9月30日	その他期間中		対応	期間	定員50%制限	令和3年4月1日～9月30日	使用料50%免除	令和3年4月1日～6月30日	施設名	元年度	2年度	3年度	ホール	45.9	42.3	53.3	大会議室	47.6	42.8	48.4	スタジオA	65.2	57.3	76.0	スタジオB	55.7	52.9	74.4	元年度	2年度	3年度	18,571	11,817	21,542	元年度	2年度	3年度	15,385	12,520	27,158
緊急事態宣言及びまん延防止措置適用期間中																																																					
対応	期間																																																				
貸館停止	令和3年4月25日～5月11日																																																				
合唱等禁止行為適用	令和3年4月22日～9月30日																																																				
開館時間短縮	令和3年4月22日～4月24日、5月12日～6月20日、8月20日～9月30日																																																				
その他期間中																																																					
対応	期間																																																				
定員50%制限	令和3年4月1日～9月30日																																																				
使用料50%免除	令和3年4月1日～6月30日																																																				
施設名	元年度	2年度	3年度																																																		
ホール	45.9	42.3	53.3																																																		
大会議室	47.6	42.8	48.4																																																		
スタジオA	65.2	57.3	76.0																																																		
スタジオB	55.7	52.9	74.4																																																		
元年度	2年度	3年度																																																			
18,571	11,817	21,542																																																			
元年度	2年度	3年度																																																			
15,385	12,520	27,158																																																			

【川西市低炭素型複合施設PFI株式会社による主なエリアマネジメント事業及び自主事業】

■キセラ川西プラザのクリスマス装飾

開催日：令和3年11月10日（水）～12月25日（土）

入場者数：573名（メッセージカード記入者）

事業概要：クリスマスメッセージボードとクリスマスイルミネーションの事業を開催した。

備考：メッセージボードは福祉棟1F、イルミネーションはにぎわい遊歩道にて開催した。

■アート★キセラ～こどものかわにししてん～キセラおえかきレストラン

開催日：令和4年1月29日（土）～2月6日（日）

入場者数：562名（絵画掲出総数）

事業概要：川西市展と同時期に開催し、市内の17保育所に通う園児の作品を展示した。

備考：同時に食べ物に関連するSDGsの展示を会場内に設置した。また、キャンピングトレーラーモビホへのおえかきイベントも開催した。

【その他の自主事業】

自主事業			
事業名称	実施日	参加人数	備考
キセラ川西プラザ音楽祭 お子さまと聴くスタジオコンサートVol.1～3	R3.11.23午前	61名	
	R3.11.23午後	40名	
	R3.12.5	40名	
よしもお笑いライブin川西	R4.2.12	1,631名	
キセラみんなの演奏会 スーパーキッズオーケストラ川西公演	R4.3.13	272名	
エリアマネジメント業務			
事業名称	実施日	参加人数	備考
キセラ★パークシネマ(野外映画上映会)	R3.8.22	65名	緊急事態宣言発令に伴い、会場を野外からホールへ変更
かわにし音灯り2021連携企画 「キセラ川西プラザにぎわいマルシェ」	R3.11.6	-	ジェルキャンドル作りのワークショップを実施 体験教室参加者：32名

5. 担当部長によるR3年度事業成果の自己評価及び後期基本計画の総括を含めた今後の方向性

R3年度事業成果の自己評価	左記（自己評価）の具体的説明															
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>有効性</th> <th>効率性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		有効性	効率性	大きく向上した。			向上した。	○	○	前年度の水準に留まった。			前年度の水準を下回った。			<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症による施設の利用制限があったものの、各団体が活動を再開し始めたことから、利用率及び使用料収入が大幅に増加した。 エリアマネジメント事業においては、かわにし音灯りとチラシを共同で作成することにより、広告宣伝の相乗効果をもたらした。イベントのにぎわい創出および集客を図った。
	有効性	効率性														
大きく向上した。																
向上した。	○	○														
前年度の水準に留まった。																
前年度の水準を下回った。																
<p>事業の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設を安心して利用していただくため、引き続き徹底した新型コロナウイルス感染症対策を行う必要がある。 PFI事業者に求めているキセラ川西プラザ周辺のまちづくり（エリアマネジメント業務）を推進するため、市や関係団体等との連携協力が必要である。 	<p>後期基本計画期間を振り返った上での令和4年度以降の方向性</p> <p>【後期基本計画を振り返ったの総括】 平成30年度に開業して以降、適切な貸館運営を行った。計画期間中に新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、エリアマネジメント事業や自主事業を通じて、施設周辺のにぎわい創出につながる取り組みを行った。</p> <p>【令和4年度以降の方向性】 キセラ川西プラザ周辺のまちづくり(エリアマネジメント業務)を推進するため、引き続き市や関係団体と連携しながら事業を進める。また、更なるにぎわい創出に向けて周辺事業者との連携した事業展開を図る。</p>															

